3-250-372-**04**(1)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NetMD

MDLP

"ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

MZ-N10

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターやUSBクレードルなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る

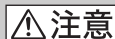
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く/パソコンから専用USBケーブルを抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号

強制

お使いになる前に

この取扱説明書では、ポータブルMDレコーダー本体の使いかたを説明しています。パソコンとつないで使う基本的な操作や、ソフトウェアの詳しい操作についてはそれぞれのマニュアルがあります。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

本体を使うときは

■ 取扱説明書（本書）

本体の操作全般についてのマニュアルです。本体の操作について詳しくはこちらをご覧ください。

困ったことがあったとき、もっと知りたいときは

■ 取扱説明書（本書）の「困ったときは」や「MD知っ得Q&A」（76ページから）をご覧ください。

本体をパソコンにつないで使うときは

■ パソコンでNet MDを使ってみよう！ SonicStage Ver.1.5簡単ガイド

SonicStageソフトウェアのインストール方法と基本的な操作についてのマニュアルです。

■ SonicStage Ver.1.5ヘルプ

画面で見る電子マニュアルです。
SonicStageソフトウェアの詳しい操作の説明や、ソフトウェア使用中に困ったことがあったときは、こちらをご覧ください。

■ パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

インターネット上のホームページです。本機とSonicStageソフトウェアの最新のサポート情報を見ることができます。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

目次

使いかた編

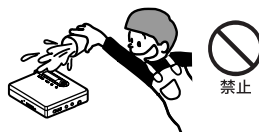
困ったときは・Q&A編

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外のUSBクレードル、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターやUSBクレードルをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプター、USBクレードルを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

火の中に入れない

破裂などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

火のそばや炎天下などで充電・放置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

USBクレードルの上に金属を置かない

USBクレードルの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

金属類と一緒に本体を携帯・保管しない

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターやUSBクレードル、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

リチウムイオン(Li-ion)
(本体に内蔵)

乾電池

アルカリ

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告　乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池を使用しない。

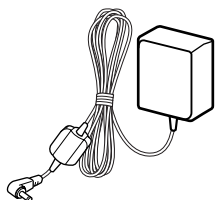
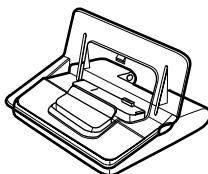
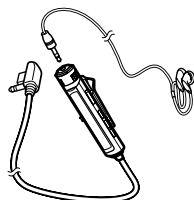
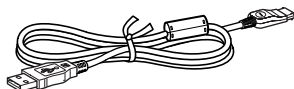
電波障害自主規制について

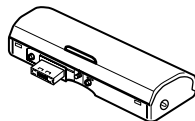
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

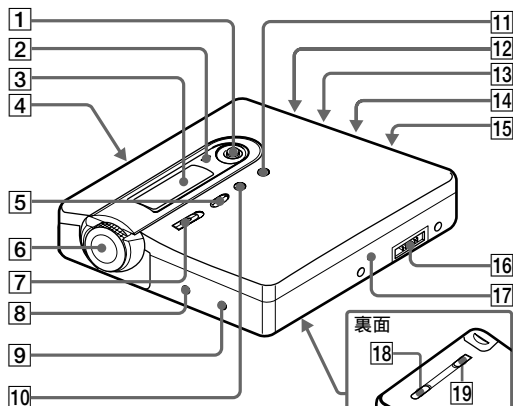
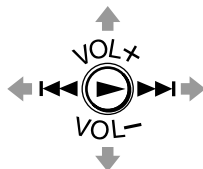
付属品を確かめる

●ACパワーアダプター

●USBクレードル

●リモコン付きヘッドホン（漢字・カナ表示対応）

●専用USBケーブル

●キャリングポーチ

●乾電池ケース

●MZ-N10 取扱説明書
●CD-ROM（SonicStage Ver.1.5）＊
●パソコンでNet MDを使ってみよう！SonicStage Ver.1.5簡単ガイド
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内
●カスタマー登録のお願い

＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

各部のなまえ

本体

1 集中コントロールキー

操作	意味
►*を押す	再生
⏮側に倒す	早戻し
⏭側に倒す	早送り
VOL +、–側に倒す	音量調整

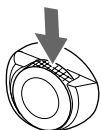
2 充電ランプ

3 表示窓

4 OPENつまみ

5 GROUPボタン

6 ジョグダイヤル
(MENU（メニュー）/ENTER（決定）)

回して選択

押して決定

7 ●RECつまみ

8 T MARKボタン

9 END SEARCHボタン

10 ❚❚ボタン

11 ■ボタン

12 ハンドストラップ用穴
お手持ちのハンドストラップをつけることができます。

13 LINE IN (OPT)ジャック

14 MIC (PLUG IN POWER)ジャック*

15 🎧/LINE OUTジャック

16 USBクレードル接続用ジャック

17 乾電池ケース取り付けネジ穴

18 HOLDスイッチ（裏面）
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

19 BUILT-IN BATTERYスイッチ
はじめてお使いになるときに、ONにしてください。（お買い上げ時はOFFになっています。）その後はONのままお使いください。

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓（本体）

1 文字情報表示部
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。

2 シンクロ録音表示

3 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

4 メロディータイマー表示

5 ディスク表示
録音、再生のとき、ディスクが回転していることを示します。

6 ブックマーク（しおり）表示
再生中の曲にブックマークがついていることを示します。

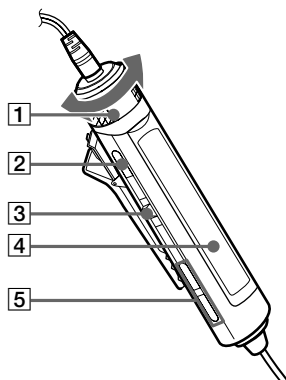
7 レベル表示

8 グループ表示

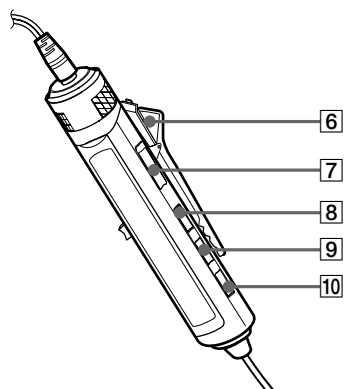
9 再生モード表示
シャッフル再生、プログラム再生、リピート再生などの再生状態を表示します。

10 電池残量表示
内蔵充電式電池や乾電池の残量の目安を表示します。電池残量が少なくなると、表示が空になり点滅します。
本機は、乾電池を乾電池ケースに入れて、本体に取り付けているときでも、内蔵充電式電池を優先して使います。内蔵充電式電池が消耗すると、乾電池からの電源に切り換わり、表示の外枠がゆっくり点滅します。

11 LP2ステレオ/LP4ステレオ、モノラル表示

リモコン

1 回転つまみ（VOL（音量）+、−）
回すと音量を調節できます。

2 ■（停止）ボタン

3 ジョグレバー（►II/ENT・I◄◄・►►I）
►（再生）II（一時停止）/ENT（決定）：停止中に押すと再生をはじめます。録音中、再生中に押すと、録音／再生を一時停止します。また、メニューなどを選択しているときに押すと、選択を決定します。
►►I：再生、早送り、頭出し
I◄◄：早戻し、頭出し
I◄◄、►►I側にずらして頭出し、早送り、早戻しをします。

4 表示窓

5 🗀（グループ）+、−ボタン

6 クリップ

7 HOLDスイッチ
矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

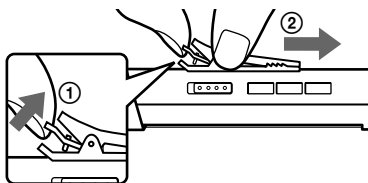
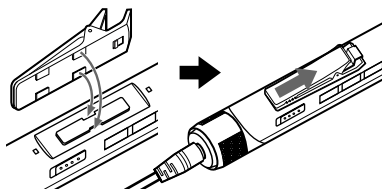
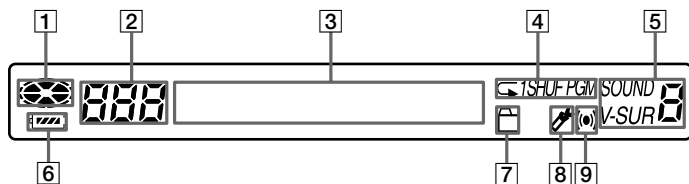
8 DISPLAYボタン

9 P MODE/⮌ボタン

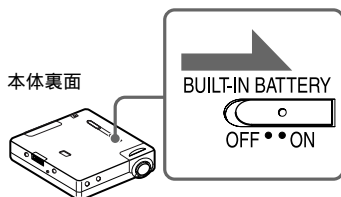
10 SOUNDボタン

リモコンクリップの使いかた

クリップを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

1 クリップをはずす。

2 逆向きにつける。

表示窓（リモコン）

1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生状態表示
5 サウンド表示
6 電池残量表示
7 グループ表示
8 ブックマーク（しおり）表示
9 メロディータイマー表示

準備する

1 BUILT-IN BATTERYを「ON」にする

通常は「ON」のままお使いください。3か月以上お使いにならないときのみ、内蔵充電式電池の劣化を防ぐため、「OFF」にしてください。

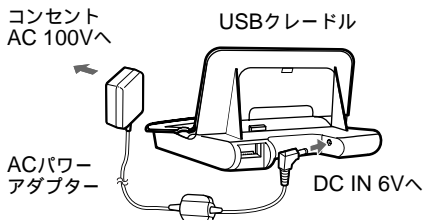
内蔵のリチウムイオン充電式電池の保護機能が解除され、本体への通電が始まり、充電が可能になります。

ACパワーアダプターやアルカリ電池で使用するときは

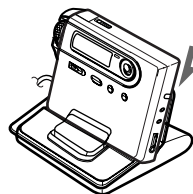
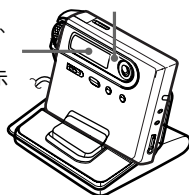
本機は常に内蔵充電式電池からの電源供給が必要です。必ず以下のようにしてお使いください。

— どの電源で使用するときも、BUILT-IN BATTERYスイッチを「ON」にする。
— 内蔵充電式電池は使い切る前に充電する。

2 充電する

❶ USBクレードルとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ

❷ 本体をUSBクレードルにのせる。
押しながらはめ込みます。

❸ 充電ランプが点灯したことを確認する。

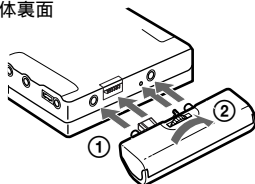
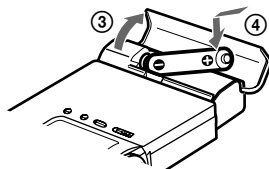
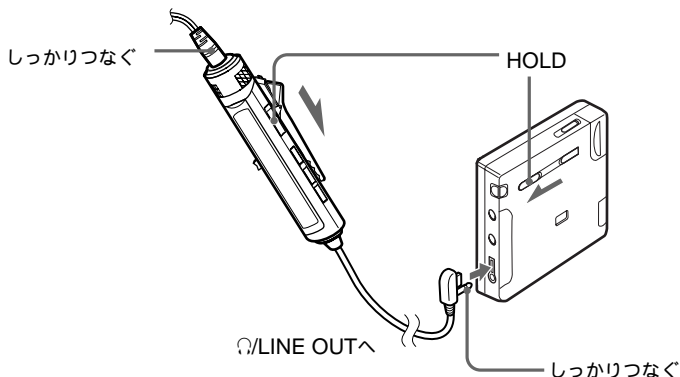
- **すぐに充電ランプが消える場合は：**
  充分に充電されています（お買い上げ時は充電されています）。
- **時間「– –min」が表示される場合は：**
  充電の残り時間です。使い切った状態から充電を始めると、約1時間で充電ランプが消え、充電が一度終了します。充電ランプが消えた時点で、80%充電されています。その後更に3時間ほどすると、100%充電完了となります。

❹ USBクレードルのRELEASEを押して、USBクレードルからはずす。

- 充電中は次のように表示されます。
「Charging」、「– –min」→「Charging」、「65min」（充電完了まであと約65分）→「Charging」、「60min」（充電完了まであと約60分）→・・・→消灯（充電完了）
- 本機は充電中でも操作できます。ただし、上記の充電完了までの時間は表示されません。

アルカリ乾電池と一緒に使って、長時間使用するときは

1 内蔵充電式電池を充電する。
内蔵充電式電池の残量が少ないと、乾電池を入れても、本機をお使いになることができません。「LOW BATT」が表示されたら内蔵充電式電池を充電してください。

2 乾電池ケースを本体に取り付ける。

本体裏面

3 ソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れる。
図のように必ず⊖側から入れてください。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

ACパワーアダプターをつないで家庭用電源で使うこともできます。

乾電池ケースを本体に取り付け、乾電池ケースのDC IN 6VジャックにACパワーアダプターをつなぎます。

ご注意

- 充電にかかる時間は、周囲の温度によって異なります。（0℃～+40℃内の温度の場所で充電してください。）
- 内蔵充電式電池が消耗しきっているなど、電池の状態によってはUSBクレードルに置いてから1分間程表示が出ないことがあります。1分以上たっても表示が出ない場合は、USBクレードルから本体をはずし、もう一度置き直してください。
- 内蔵充電式電池が完全に消耗したり、BUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにすると、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合は、もう一度時計を設定し直してください（56ページ）。

電池の持続時間*

録音

使用電池	**ステレオ**	LP2 **ステレオ**	LP4 **ステレオ**
内蔵充電式電池	約8.5時間	約11時間	約14時間
アルカリ乾電池	約7.5時間	約10時間	約11.5時間
内蔵充電式電池＋アルカリ乾電池	約15時間	約20時間	約26.5時間

再生

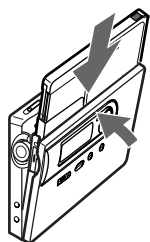
使用電池	**ステレオ**	LP2 **ステレオ**	LP4 **ステレオ**
内蔵充電式電池	約17時間	約20時間	約24時間
アルカリ乾電池	約27時間	約32時間	約36時間
内蔵充電式電池＋アルカリ乾電池	約42時間	約52時間	約58時間

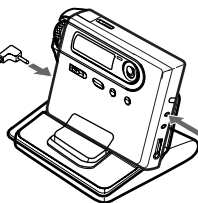
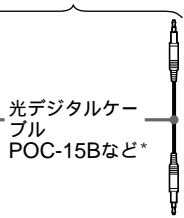
＊ 詳しくは70ページをご覧ください。

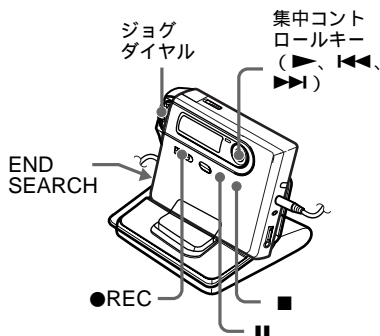
録音する

光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーやBSチューナーなどとつないでデジタル録音する方法を説明します。別売りの光デジタルケーブルをご用意ください。
録音の際は、ACパワーアダプターを家庭用電源（コンセント）につないでご使用になることをおすすめします。
その他の録音方法は24〜30ページをご覧ください。

1 ミニディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

2 つなぐ（奥までしっかりと差し込んでください。）

＊ 詳しくは「別売アクセサリー」（75ページ）を参照してください。

3 録音する

❶ **録音したいCDなどを一時停止にする。**

❷ **停止中に●RECつまみを押しながらずらす。**
「REC」表示とRECつまみ中央部のREC LEDが点灯し、録音が始まります。

❸ **CDなどの再生を始める。**
録音元のCDなどと同じところに曲番がつきます。

止めるには、■を押す。

ご注意

すでに録音済みのディスクに録音をすると、ディスクの内容が上書きされます（お買い上げ時の設定）。録音済み部分の後ろから録音したい場合は、手順3の「録音する」の前に「上書きをせずに録音する」（57ページ）の設定を行ってください。

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しく録音する	END SEARCHを押し、●RECつまみを押しながらずらす。[1]
録音した内容の途中から続けて上書き録音する[1]	▶を押す、または集中コントロールキーを⏮、⏭側に倒して録音を始めたい位置を探し、■を押す。次に、●RECつまみを押しながらずらす。
一時停止する	❚❚ を押す。[2] もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のＯＰＥＮつまみをずらしてふたを開ける。[3]（「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。）

[1] 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From End」になっているときは、END SEARCHボタンを押さなくても常に録音済み部分の後ろから新しく録音を始めます（57ページ）。
[2] 一時停止したところで曲番（トラックマーク）が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。
[3] ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります（録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From Here」になっているとき）。

録音が始められないときは

- ホールド（誤動作防止）スイッチを確認してください。（12、17ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみを確認してください。（73ページ）。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

録音状態を確認する

REC LEDが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
トラックマーク(曲番)が追加されたとき*	一瞬 消灯
チェックアウト時	速く点滅

* 手動でトラックマークを追加したときや、オートタイムマーク機能で追加したとき（29ページ）を除く。

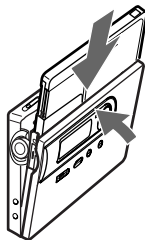
ご注意

- 「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（曲の開始・終了位置など）を ディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりすると、それまで録音した内容が記録されません。
- 録音中や編集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまえに電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  — ACパワーアダプターを接続していないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  — 音飛びガード機能（ESPやG-PROTECTIONなど）がONになっていると、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、音飛びガード機能をOFFにしてください。

- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。音の大きさを変えたいときは、「手動で録音レベルを調節する」（30ページ）をご覧ください。
- 録音中に音を聞くことができます。
  🎧/LINE OUTジャックにリモコン付きヘッドホンをつなぎます。聞こえる音の大きさはリモコンの回転つまみを回して（本体では集中コントロールキーをVOL＋、－側に倒して）調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

再生する

1 ミニディスクを入れる

録音済みのディスクを入れます。

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

2 聞く

❶ **►を押す。**
リモコンではジョグレバーを押す（►II）。
操作すると「ピ」と確認音がします。

❷ **集中コントロールキーをVOL＋、－側に倒して、音量を調節する。**
リモコンでは回転つまみをVOL ＋、－側に回して、音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■を押す。
操作すると「ピー」と確認音がします。
停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約3分後に、自動的に電源が切れます。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。
ディスクの初めの曲から再生を始めたいときは、►（リモコンではジョグレバー（►II））を2秒以上押したままにして、再生を始めてください。

こんなときは	本体操作	リモコン操作
一時停止する	■■を押す。 もう一度押すと解除されます。	ジョグレバーを押す（►■■）。 もう一度押すと解除されます。
曲番や曲名を直接選ぶ（ダイレクト選曲）	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、押す。	—
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	集中コントロールキーを⏮側に倒す。またはさらに戻したい曲数だけ⏮側に倒す。	ジョグレバーを⏮側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけ⏮側にずらす。
次の曲を頭出しする	集中コントロールキーを⏭側に倒す。	ジョグレバーを⏭側にずらす。
再生しながら早戻し／早送りする	集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒したままにする。	ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒したままにする。	一時停止中、ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒したままにする。	停止中、ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしたままにする。
10曲ごとに頭出しする（グループ設定されていないディスク[1]の再生時のみ）	GROUPを押してから、集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒す。	🗀 ＋または–を押す。
ディスクを取り出す	■を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。

[1] 詳しくは、「グループ機能を使う」（45ページ）をご覧ください。
[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります（パーソナルディスクメモリーに登録しているときを除く）。

再生が始められないときは

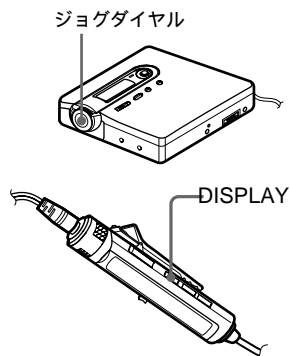
ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（12、17ページ）。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。

- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

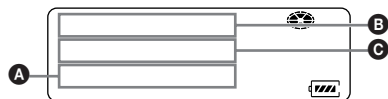
表示窓で情報を見る

録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生し、停止したときに表示されます。

本体で操作する

1 ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「DISPLAY」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して確認したい情報を表示させ、押して決定する。

本体の表示窓

回すたびに、表示は次のように変わります。

LapTime ←→ RecRemain ←→ GP Remain ←→ AllRemain ←→ Title ←→ Sound ←→ Batt Stat ←→ Clock

ジョグダイヤルを押すとⒶ、Ⓑ、Ⓒに選んだ情報が表示されます。

Ⓐ（選んだ項目）	Ⓑ	Ⓒ
—(LapTime)	曲番	経過時間
RecRemain	曲番	録音できる残り時間
GP Remain	グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
曲名	ディスク名	グループ名
サウンドモード名	選ばれている各サウンドモード別表示	—
—	Batt Stat	使用中の電源（内蔵充電式電池：BLT-IN 乾電池：ADD-ON 家庭用電源：AC）
Clock	年月日	現在時刻

ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

リモコンで操作する

1 **DISPLAYを押す。**

押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

D	E
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループの全曲数	グループ名
残り曲数	ディスク名
曲番	グループ名（上段）曲名（下段）
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示
曲番	使用中の電源 （内蔵充電式電池：BLT-IN 乾電池：ADD-ON 家庭用電源：AC）
—	現在時刻

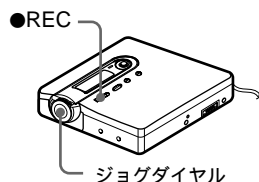
ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

再生中の表示については、31ページの「表示窓で情報を見る」をご覧ください。

録音元に合わせて録音を開始／停止する

（シンクロ録音）

録音元の音に合わせて録音を始めたり止めたりします。光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から、本機へ録音するときに、録音元と本機の両方を操作する手間をはぶき、簡単に録音できます。光ケーブルで接続をしないとシンクロ録音はできません。

1 **接続する。**

録音元の機器に合わせて、別売りの光デジタルケーブルをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリー」（75ページ）をご覧ください。

2 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「SYNC REC」を表示させ、押して決定する。**

5 **ジョグダイヤルを回して「SYNC ON」を表示させ、押して決定する。**

次ページへつづく

6 ●RECつまみを押しながらずらす。
「REC」表示とREC LEDが点灯し、録音待機状態になります。

7 録音したいCDなどを再生する。
録音元で音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

録音を止めるには

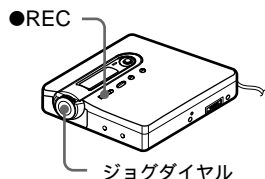
■を押す。

シンクロ録音中に録音元で約3秒の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止、または一時停止を解除することができません。
- 録音中は、「SYNC REC」の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音元で無音（92ページ）状態が続いても、録音元の雑音が原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- CDやMD以外からのシンクロ録音中に、録音元の同一曲内で約2秒の無音（92ページ）が続くと、再び音が出たところで曲番が1つ増えます。

長時間録音する（MDLP）

通常のSPステレオ録音に加えて、録音時間を2倍(LP2)または4倍(LP4)長くしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。またモノラル録音でも通常のSPステレオ録音よりも2倍長く録音することができます。
LP録音した内容は、MDLP再生に対応していない他の機器では再生できません。

1 停止中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「REC MODE」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回してお好みの録音モードを表示させ、押して決定する。

録音モード[1]	本体液晶表示	録音時間[2]
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分
モノラル録音[3]	MONO	約160分

[1] より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。
[2] 80分ディスク使用時。
[3] ステレオの音源をモノラル録音すると、左右の音がミックスされて録音されます。

5 ●RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。

6 録音もとの機器の再生を始める。

録音を止めるには

■を押す。

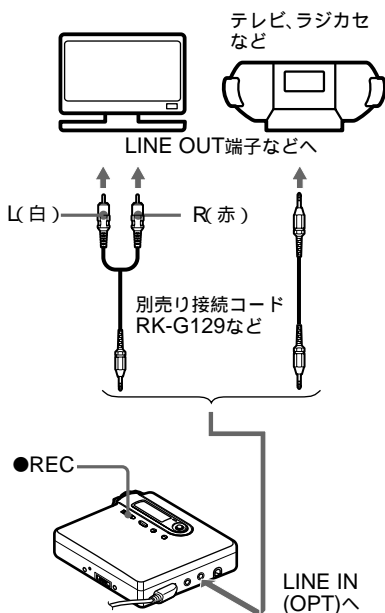
次に録音するときまで、録音モードは記憶されています。

MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2ステレオ」、「LP4ステレオ」に対応しています。

ご注意

- 長時間録音するときはACパワーアダプターをつないでお使いになることをおすすめします。
- LP4ステレオ録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音を選んでください。

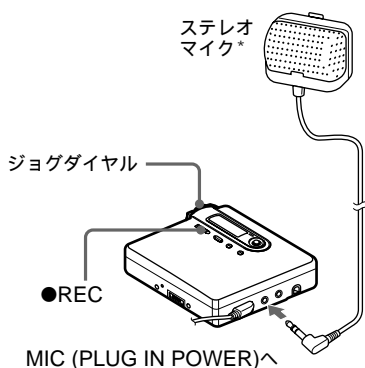
テレビやラジオから録音する（アナログ録音）

カセットテープやラジオ、テレビなどの「アナログ機器」から録音する場合や、MDから録音する場合の方法です。

1 接続する。

録音元の機器に合わせて、別売りの接続コードをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリー」（75ページ）、「こんなこともできます」（88ページ）をご覧ください。

2 ●RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。

3 録音したい音を出す。

マイクで録音する

＊ 詳しくは「別売りアクセサリー」（75ページ）を参照してください。

1 別売りのステレオマイクを本体につなぐ。
入力は自動的にマイク入力に切り換わります。

2 ●RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。

マイク感度を変える

1 停止中または録音中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「MIC SENS」を表示させ、押して決定する。

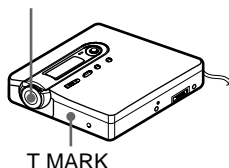
4 ジョグダイヤルを回して「SENS HIGH」または「SENS LOW」を表示させ、押して決定する。
- 「SENS HIGH」：会話など、通常の音量のものを録音するとき
- 「SENS LOW」：ライブ録音など、大音量を録音するとき

プラグインパワータイプのマイクをお使いの場合、電源は本体から供給されますので、マイクの電源をOFFにしても使うことができます。

ご注意

- 光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。光デジタルケーブルがLINE IN (OPT)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続タイプのマイクはノイズを拾うことがあるのでご注意ください。
- モノラルマイクで録音すると、左チャンネルしか録音できません。

録音中にトラックマークをつける

録音中にトラックマーク（曲番）をつけて、曲や録音に区切りをつけることができます。

手動でつける

1 録音中、トラックマークをつけたいところで、T MARK（リモコンでは P MODE/⊂⊃）を押す。

自動でつける（オートタイムマーク）

会議や講義など、長い録音をするときに、一定時間ごとにトラックマークを自動的につけて、途中に目印をつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音中にのみ設定することができます。

1 録音中または録音一時停止中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「TIME MARK」を表示させ、押して決定する。
「OFF」が点滅します。

4 ジョグダイヤルを回して「ON」を表示させ、押して決定する。

5 ジョグダイヤルを回してお好みの時間を表示させ、押して決定する。
「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

設定を解除するには

手順4で「OFF」を選ぶ。または■を押して録音を停止する。

録音中のオートタイムマークのつきかた

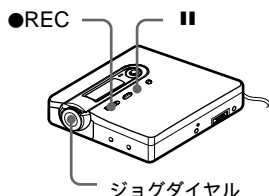
- 録音している時間がトラックマークの設定時間を超えていたとき：
  設定をしたところでトラックマークがつき、以後設定時間ごとにトラックマークがつく
  例）録音時間8分、トラックマークの設定時間5分（TIME:05）のとき
  実際にトラックマークがつくのは、8分、13分、18分、23分・・・
- 録音している時間がトラックマークの設定時間より短いとき：
  トラックマークの設定時間に達したときから設定時間毎にトラックマークがつく
  例）録音時間3分、トラックマークの設定時間5分（TIME:05）のとき
  実際にトラックマークがつくのは、5分、10分、15分・・・

オートタイムマークでトラックマークをつけると、本体の表示窓では時間表示の前に「T」がつきます。リモコンの表示窓では、時間表示の後ろに「T」がつきます。

ご注意

- 録音の途中にT MARKボタンを押したり、❚❚を押して、トラックマークがついてしまったときは、その時点から設定した時間ごとにオートタイムマークがつきます。
- 録音を止めると、設定は解除されます。

手動で録音レベルを調節する

録音中は、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。アナログ録音のときはもちろん、デジタル録音のときでも調整できます（デジタルRECレベルコントロール）。

1 **IIを押しながら、●RECつまみを押しながらずらす。**
録音一時停止になります。

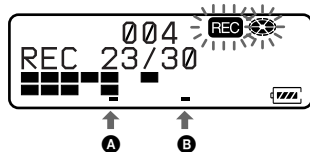
2 **ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「REC SET」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「RecVolume」を表示させ、押して決定する**

5 **ジョグダイヤルを回して、「ManualREC」を表示させ、押して決定する。**

6 **録音したい音を出す。**

7 **表示窓を見ながらジョグダイヤルを回して録音レベルを調節する。**
録音レベルは、Ⓐから Ⓑの間を目安にレベル表示のバーが点灯するように調整します。Ⓑより右が点灯するときは、録音レベルを下げてください。
画面に表示されるレベル表示のバーは次のように分かれています。
上段：L（左）のレベル
下段：R（右）のレベル

8 **IIを押して録音を始める。**
他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

自動調節にするには

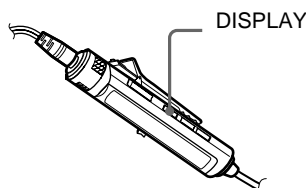
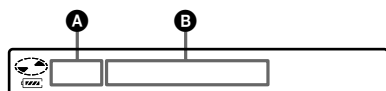
手順5で「Auto REC」を選ぶ。

ご注意

- 左右の音（チャンネル）のレベルは、別々に調節できません。
- 録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- シンクロ録音中に手動で調節するときは、まずシンクロ録音が「SYNC OFF」の状態（25ページ）で、上記手順1～7を行い、録音レベルの調整をします。その後、シンクロ録音を「SYNC ON」にして、録音を始めます。

この章ではリモコンでの操作を説明しています。各項目の本体での操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

表示窓で情報を見る

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。

1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。
押すたびに、表示は次のように変わります。

表示A/B

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループ内の全曲数	グループ名
残り曲数	ディスク名
曲番	グループ名（上段） 曲名（下段）
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示
曲番	使用中の電源 （内蔵充電式電池：BLT-IN 乾電池：ADD-ON 家庭用電源：AC）
—	録音した時刻
曲番	録音されたときのモード

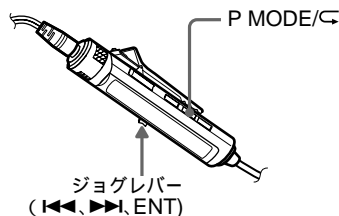
ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

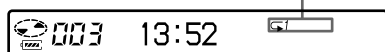
録音または停止中の表示については、24ページの「表示窓で情報を見る」をご覧ください。

本体の操作については62ページをご覧ください。

再生モードを選ぶ

リモコンのP MODE/↻ボタンを使っていろいろな聞き方ができます。

1 **P MODE/↻を繰り返し押す。**
押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

再生モード表示

003 13:52 ↻1

表示*	再生状態
—	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
1	1曲再生（今再生している曲のみを再生）
✎	ブックマーク再生（ブックマーク（しおり）がついている曲だけを順番に再生）
SHUF	シャッフル再生（全曲を順不同に並べかえて再生）
PGM	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）

* グループ設定されたディスクでは、グループ再生モード（□）も表示されます。詳しくは「グループで再生する」（47ページ）をご覧ください。

繰り返し聞く（リピート再生）

通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生などを繰り返し聞くことができます。

1 **お好みの再生モードで再生中、P MODE/↻を2秒以上押す。**
↻ が点灯します。

解除するには

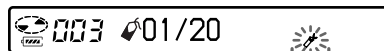
P MODE/↻を2秒以上押す。

リピート再生中に、P MODE/↻ボタンを押すと、リピートのままで再生モードを変えることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 **ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。**
ブックマーク再生の1曲目が確定します。

ブックマークがゆっくり点滅

2 **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**
全部で20曲までつけられます。

ブックマークした曲を再生するには

1 **再生中、P MODE/⊂を繰り返し押して、「TrPLAY?」を表示させる。**

2 **ジョグレバーを押す。**
ブックマークのついた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 **再生中、「PGM」が表示されるまでP MODE/⊂を繰り返し押す。**

2 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして曲番を選び、押して決定する。**

3 **手順2を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。**
全部で20曲までプログラムできます。

4 **選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。**
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。

再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。

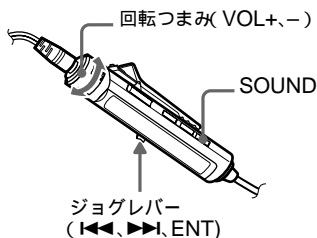
ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

本体の操作については58ページをご覧ください。

好みの音にする（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質をリモコンで選択・設定することができます。
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR（**バーチャルサラウンド**）：音の臨場感を変える。（4種類）
- 6 BAND EQUALIZER（**6バンドイコライザ**）：音質を変える。（6種類）

臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

1 **再生中、SOUNDを繰り返し押し、「V-SUR」を選ぶ。**

2 **SOUNDを2秒以上押す。**

次ページへつづく

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしてサラウンドの種類を選ぶ。**

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
STUDIO	*V-SUR* S
LIVE	*V-SUR* L
CLUB	*V-SUR* C
ARENA	*V-SUR* A

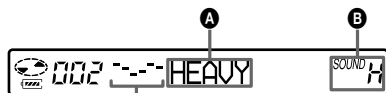
4 **ジョグレバーを押して決定する。**

音質を選ぶ
(6バンドイコライザ)

1 **再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SOUND」を選ぶ。**

2 **SOUNDを2秒以上押す。**

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしてサウンドの種類を選ぶ。**

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
HEAVY	*SOUND* H
POPS	*SOUND* P
JAZZ	*SOUND* J
UNIQUE	*SOUND* U
CUSTOM	*SOUND* 1
CUSTOM	*SOUND* 2

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

設定を解除するときは

手順1でⒷに何も表示されていない状態を選ぶ。

好みの音質にする

「CUSTOM1」と「CUSTOM2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 **上記の手順1〜3を行い、「CUSTOM1」または「CUSTOM2」を表示させる。**

2 **ジョグレバーを押す。**

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして周波数を選ぶ。**

周波数は次の6つから選べます。
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

4 **回転つまみを繰り返し回してレベルを調節する。**

レベル(+10dB)

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 **手順3と4を繰り返す。**

6 **ジョグレバーを押して決定する。**

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

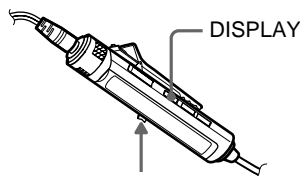
1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

本体の操作については59、60ページをご覧ください。

再生速度を変える

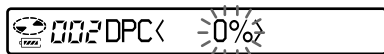
(デジタルピッチコントロール)

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります
+100%〜–50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

ジョグレバー(**I◀◀、▶▶I、**
ENT)

1 **再生中、DISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをI◀◀またはI▶▶I側にずらして「USEFUL」を表示させ、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「DPC」を表示させ、押して決定する。**

再生速度の設定画面になります。音を聞きながら選んでください。

4 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして速度を選び、押して決定する。**

表示窓に「DPC」と表示されます。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

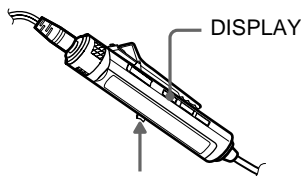
ディスクを出し入れすると、設定は0%に戻ります。

ご注意

再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

本体の操作については61ページをご覧ください。

アラームを鳴らす
（メロディタイマー）

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のアラームを設定しておくことができます。そのうちの1つを選んでお使いください。アラームが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。タイマーは停止中でも働きます。

1 **DISPLAYを2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「USEFUL」を表示させ、押して決定する。**

3 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「Melody Timer」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらして「ON」を表示させ、押して決定する。**

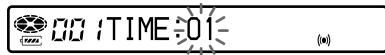
((•))が点灯します。

5 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームの種類を選び、押して決定する。**

アラームは次の3種類から選び、3つの時間設定をすることができます。

表示	音の種類
TIMER 1	メロディ（アルルの女）
TIMER 2	メロディ（バッヘンベルのカノン）
TIMER 3	メロディ（エリーゼのために）

6 **ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームが鳴るまでの時間を選ぶ。**

00 1TIME:01

ジョグレバーをずらすたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

7 **ジョグレバーを押して決定する。**

メロディタイマーが設定されます。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

アラームが鳴るまでの時間を確認するには

再生を停止する。
しばらくすると音が鳴るまでの時間が表示されます。
再生中や再生一時停止中の場合は、手順6までをもう一度行うと表示されます。

予約を解除するには

手順4で「OFF」を選ぶ。

アラームを止めるには

いずれかのボタンを押す。

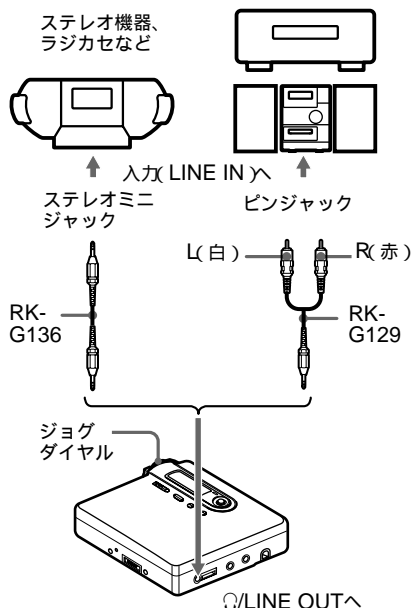
- 手順4で操作を終了すると前回と同じ設定でタイマーが設定されます。
- アラームは1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

ご注意

- 録音を開始すると、設定は解除されます。
- 手順4で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順6で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

本体の操作については66ページをご覧ください。

お手持ちのシステムで聞く（LINE OUT）

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を♫/LINE OUTジャックにつなぎます。

本機の♫/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、♫/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をする必要があります。

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「USEFUL」を表示させ、押して決定する。**

次ページへつづく

3 **ジョグダイヤルを回して「AUDIO OUT」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して、「LINE OUT」を表示させ、押して決定する。**

ご注意

- ☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやバーチャルサラウンド、6バンドイコライザは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- ヘッドホンを直接本体につなぐときは、手順4で☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。

この章では本体での操作を説明しています。各項目のリモコンでの操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

編集する前に

ミニディスクにトラックマーク（曲番）をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。

ご注意

- 再生専用ミニディスクの編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください（73ページ）。
- 「TOC Edit」表示中は編集内容をディスクに記録しています。
  — 衝撃を与えないでください。
  — 電源を抜かないでください。
  — ふたは開きません。

名前をつける（ネーム）

文字パレットを使って曲名やディスク名をつけたり変えたりすることができます。

ご注意

グループ名をつけるときは50ページをご覧ください。

入力できる文字の種類

- カタカナ（半角）
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号　！ " ＃ ＄ ％ ＆ ( ) ＊ . ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ＋ － ' , ／ ：
  ␣（スペース）

入力できる文字数

- 曲名、ディスク名にそれぞれ200文字（全文字種混在の場合）

1枚のディスクに入力できる文字数

- 英数字／記号のみの場合：
  10文字程度で約120タイトル（最大約1700文字）
- カナ文字のみの場合：
  10文字程度で約60タイトル（最大約800文字）

文字数によって登録できるタイトル数は異なります。

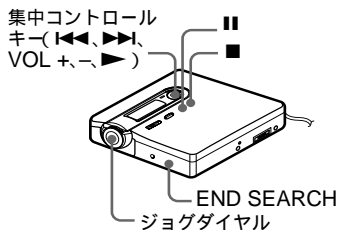
文字パレットについて

本体では表示窓に出てくる文字パレットから、文字を選んで入力します。文字パレットの文字配列は次のようになっています。

ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎ
ﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ ﾞﾟｰ ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 123
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 456
.,–?!&'"/@;:()#$*<=>`+%_ 0 789

このように表示窓には文字パレットの一部しか表示されないので、集中コントロールキーでカーソルを動かして、文字を選びます。

ご注意

- ディスク名やグループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 付属のリモコンで漢字を表示することはできますが、漢字で名前をつけることはできません。付属のSonicStageソフトウェアを使うと、漢字の入力ができます。

名前をつける

再生中、録音中、停止中、いずれの状態でも名前をつけることができます。ただし、停止中に曲名をつけるときは、名前をつけたい曲を選んでいる状態で名前をつけてください。

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**

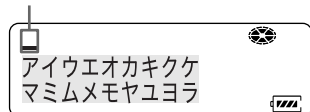
3 **ジョグダイヤルを回して「Name」を表示させ、押して決定する。**

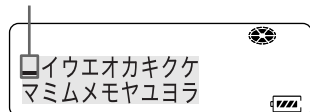
次ページへつづく

4 **ジョグダイヤルを回して次の表示を表示させ、押して決定する。**

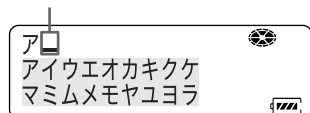
つける名前	表示
曲名をつけるとき	♫ : Name
ディスク名をつけるとき	⊖ : Name

カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力状態になります。

カーソルが点滅する

5 **集中コントロールキーをVOL –側に倒す。**

カーソルが移動し、文字と交互に点滅する。

6 **集中コントロールキーで文字を選び、►を押して決定する。**

文字パレットで選んだ文字が入力エリアに表示され、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置で点滅する

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能 *	操作
文字パレット上でカーソルを移動する。	● 集中コントロールキーを倒す。 ● ジョグダイヤルを回す（上下移動のみ）[2)]。
入力エリアで直接文字を選ぶ。	ジョグダイヤルを回す。
文字を決定する。	● ►を押す。 ● ジョグダイヤルを押す。
カーソルを入力エリアから文字パレットに移す。	集中コントロールキーをVOL –側に倒す。
カーソルを文字パレットから入力エリアに移す。	■を押す。
名前を確定する。	►またはジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	END SEARCHと、集中コントロールキーをVOL +側に、同時に倒す。
カーソル上の文字を削除する。	END SEARCHと、集中コントロールキーをVOL –側に、同時に倒す。
カーソル上の文字に濁点、半濁点をつける。	❚❚を押す。
記号：、–、／を表示させる。	❚❚を押す。
カーソル上のアルファベットの大文字／小文字を切り換える。 例：A→a	❚❚を押す。

カーソル上のカナ文字を促音に切り換える。 例：ツ→ッ	❚❚を押す。
文字入力をやめる。	カーソルが入力エリアのとき、■を押す。

* ボタンの機能はカーソルが入力エリアにあるときと、文字パレットにあるときで異なることがあります。

7 **手順6を繰り返して名前をつける。**

8 **ジョグダイヤルを2秒以上押す。**
名前が入力されます。

ご注意

録音中に曲名、ディスク名を入力している途中で録音が終了した場合や、録音中に曲名入力をしている途中で次の曲が始まった場合は、それまでの入力が記録されます。

名前を変更する

「名前をつける」（39〜このページ）の手順で名前を変更してください。
ディスク名を変更するときは、録音中、再生中、停止中、いずれの状態でも変更できます。
名前を変更するときは、曲の再生中、または停止中で曲を選んでいる状態で変更してください。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

ご注意

- カナ入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、先頭と最後に「ˆ」がつきます。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を、本機で書き換えることはできません。

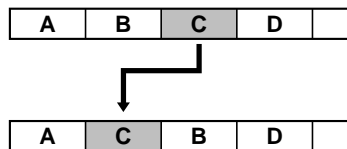
リモコンの操作については63ページをご覧ください。

曲順を変える（ムーブ）

曲を移動して、曲順を変更できます。

ご注意

グループ設定されたディスク内の曲順を変えるときは50ページをご覧ください。

例:3曲目（C曲）を2曲目に移動するとき

1 **移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**
1曲リピート再生になります。

次ページへつづく

3 ジョグダイヤルを回して「Move」を表示させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「♫：Move」を表示させ、押して決定する。
表示窓の中段に曲番が点滅します。
曲名が入力されているときは、集中コントロールキーを▶▶I側に倒すと、曲名を表示させることができます。I◀◀側に押すと曲番に戻ります。

5 ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を表示させる。
例ではC曲を2曲目に移動したいので、ジョグダイヤルを上方向に回して、表示窓の中段に「002」が点滅するようにします。

6 ジョグダイヤルを押して決定する。
指定した位置に移動したい曲が移ります。

途中で止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

リモコンの操作については64ページをご覧ください。

曲を分ける（ディバイド）

曲の途中にトラックマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲を分ける前に分ける位置を微調整することもできます。曲を分けると曲番は下のようになります。
本体でのみ操作できます。

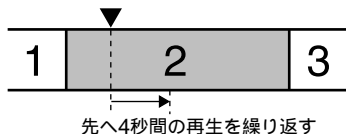
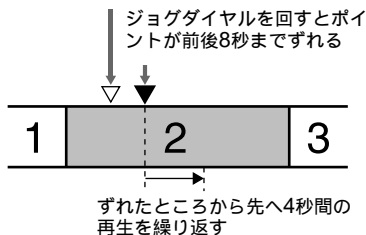
ご注意

パソコンからチェックアウトした曲はトラックマークをつけることができません。

直接曲を分ける（ディバイド）

1 再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKを押す。
「MARK ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

分ける位置を調整してから曲を分ける（ディバイドリハーサル）

1 再生中にT MARKを2秒以上押す。
T MARKが押されたところから、先へ4秒間の再生を繰り返します。

2 ジョグダイヤルを回して曲を分けるポイントを調整する。
ジョグダイヤルを回すとポイントが前後にずれていきます。手順1でT MARKを押した位置から、最大8秒前後に動かすことができます。

3 ジョグダイヤルを押して決定する。

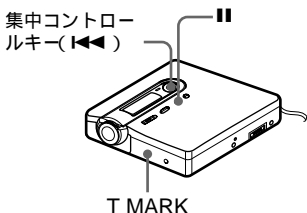
録音中に曲を分けるには

録音（シンクロ録音を除く）中に、マークをつけたい位置でT MARK（リモコンではP MODE/⊂）を押してください。
また、オートタイムマークを使って、一定時間おきに自動的に曲を分けることもできます（デジタル録音中を除く）（29ページ）。

曲を1つにする（コンバイン）

アナログ入力（LINE IN）やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要なトラックマークがついて、曲が分割されてしまうことがあります。
その場合は、トラックマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。
本体でのみ操作できます。

ご注意

- パソコンからチェックアウトした曲はトラックマークを消すことができません。
- グループ設定されたディスク内の曲やグループを1つにするときは48ページをご覧ください。
- 異なるモードで録音された曲は、つなげません。

1 曲番を消したい曲を再生し、❚❚を押して再生一時停止にする。

2 集中コントロールキーを⏮側に倒して曲の先頭（00:00）にする。
例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。
「MARK」が表示されます。

次ページへつづく

編集する

3 T MARK**を押す。**

「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

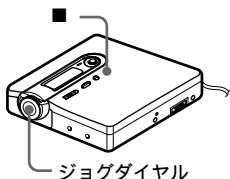
ご注意

別のグループに属する連続した2つの間をつなぐと、前の曲が属するグループに登録されます。また、連続した、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の設定と同じになります。

曲を消す(イレース)

不要になった曲やディスクの曲を丸ごと削除することができます。

ご注意

- パソコンからチェックアウトした曲は消せません。ディスクごと消す場合も、チェックアウトした曲が、1曲でも含まれていると消すことができません。パソコンにチェックインしてください。
- グループを消すときは、52ページをご覧ください。

1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

1 **消したい曲の再生中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「**EDIT**」を表示させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「**Erase**」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「♫ :** Erase**」を表示させ、押して決定する。**

表示窓に曲名（または曲番）と「Erase OK?」、「PushENTER」が表示されます。

5 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりにトラックマークをつけて（42ページ）、その部分を消してください。

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。
一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから行ってください。

1 **消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **停止中に、ジョグダイヤルを押す。**

4 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**

5 **ジョグダイヤルを回して「Erase」を表示させ、押して決定する。**

6 **ジョグダイヤルを回して、「：Erase」を表示させ、押して決定する。**
表示窓にディスク名と「AllErase?」、「PushENTER」が表示されます。

7 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00 : 00」と表示されます。

途中で止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

リモコンの操作については65ページをご覧ください。

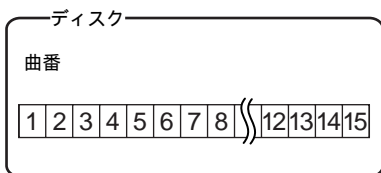
グループ機能を使う

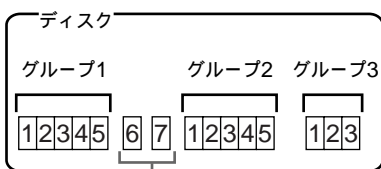
グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。
MDLP（LP2/LP4）モードで、1枚のディスクにCD何枚分かを録音したときや、シングルCDを集めて録音したディスクの再生をするときなどに便利な機能です。

グループ設定されたディスクとは？

1枚のディスク内で、録音された複数の曲が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

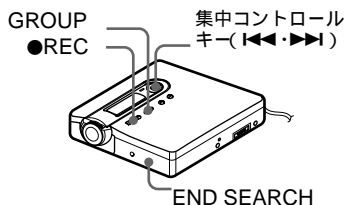
グループ設定前

1~5曲めを「グループ1」に
8~12曲めを「グループ2」に
13~15曲めを「グループ3」に
6、7曲めはグループに入れない

グループ設定後

グループに入っていない曲は「Group - -」に属しているとみなされる。

1枚のディスクには最大99個のグループを作ることができます。

ご注意

1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

グループで録音する

新しくグループを作って録音する

ディスクの最後に新しいグループを追加して録音します。

1 **停止中にEND SEARCHを押す。**

2 **GROUPを押したまま、●RECつまみを押しながらずらす。**

3 **録音もとの機器の再生を始める。**
ディスクの最後に新しいグループが追加されます。

録音を止めるには

■を押す。
録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

既存のグループに追加録音する

今あるグループの中に曲を追加します。

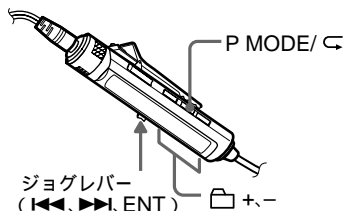
1 **GROUPを押し、集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒して、録音を追加したいグループを表示させる。**

2 **GROUPを押したまま、●RECつまみを押しながらずらす。**

3 **録音もとの機器の再生を始める。**

- 現在聞いているグループに曲を追加して録音するときは、再生を一時停止または停止させて手順2から行ってください。
- GROUPボタンを押さなくても、常にグループ録音になるように設定することができます。詳しくは57ページをご覧ください。

グループで再生する

グループ設定されたディスクではグループ機能を使っていろいろな再生を行うことができます。
グループの再生中、ディスク中でグループに設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

ここではリモコンでの操作を説明しています。本体の操作については58ページをご覧ください。

グループ再生する

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループ化されていない曲（「Group --」）を再生して終わります。

1 再生中、P MODE/⊊を繰り返し押して、「□」を表示させる。

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

1 再生中、□ +または–を押す。
–ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。

グループ単位で再生モードを選ぶ

グループ設定されたディスクでは、グループ単位でのシャッフル再生やプログラム再生ができます。

1 P MODE/⊊を繰り返し押す。
通常の再生モードに続いて、次のグループ再生モードが表示されます。

表示	再生状態
□	グループ通常再生（先頭グループから順にグループごとに1回再生）
□ SHUF	イングループシャッフル（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
□ PGM	グループプログラム（グループ単位で再生の順番を変える）

選んだグループ再生モードを繰り返し聞く（グループリピート再生）

1 お好みのグループ再生モードで再生中、P MODE/⊊を2秒以上押す。
それぞれのグループ再生モードで繰り返し再生します。

表示	再生状態
□ ⊊	再生中のグループの曲をリピート再生
□ SHUF ⊊	再生中のグループの曲をシャッフルリピート再生
□ PGM ⊊	プログラムされたグループ単位の曲をリピート再生

好きな順にグループを並べかえて聞く（グループプログラム再生）

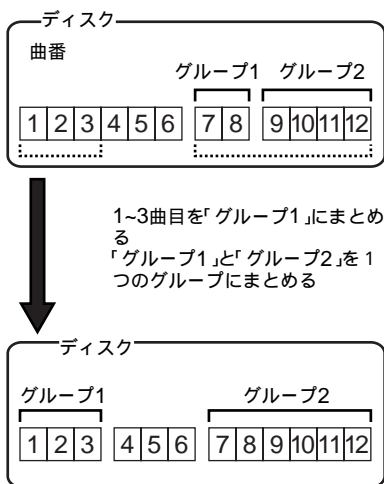
「好きな順に曲を並べ変えて聞く（プログラム再生）」（33ページ）と同様の手順で、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。

グループを編集する

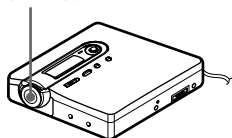
この章では本体での操作を主に説明しています。各項目のリモコンでの操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

曲やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）

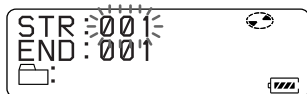
すでに録音してある曲をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめる、グループに含まれない曲をグループに入れることができます。
1枚のディスクには最大99個のグループを作ることができます。

1~3曲目を「グループ1」にまとめる
「グループ1」と「グループ2」を１つのグループにまとめる

1と3、2と4、3と7、8、4と9～12など、連続していない曲番やグループなどはまとめることができません。
操作中、曲番はディスク内の通し番号で表示されます。

ご注意

- 1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。
- まとめることができるのは連続している曲またはグループのみです。連続していない曲またはグループをまとめたい場合は、曲順またはグループの順番を並べかえて（50〜52ページ）、まとめたい曲やグループを連続させてから行ってください。

1 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「□：Set」を表示させ、押して決定する。**
STR（先頭の曲）の曲番が点滅します。

4 **ジョグダイヤルを回してグループの先頭にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**
まとめたいグループの先頭曲が選ばれます。

5 **ジョグダイヤルを回してグループの最後にしたい曲を表示させ、押して決定する。**
まとめたいグループの最終曲が選ばれ、グループ名を入力できるようになります。

6 **グループ名をつける（「名前をつける」（40、41ページ）の手順5〜8参照）。**

途中で設定を止めるときは

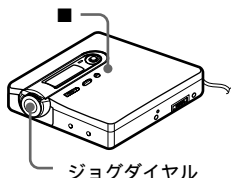
■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

ご注意

- 手順4では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 手順5で最後の曲を選ぶときは、手順4で選んだ曲より後の曲しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最後の曲は、すでにあるグループの最後の曲かグループ設定されていない曲しか選べません。

リモコンの操作については65ページをご覧ください。

グループを解除する

1 **解除したいグループを選び、(「グループの頭出し(グループスキップ)をするには」(47ページ))内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **ジョグダイヤルを押す。**

4 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**

5 **ジョグダイヤルを回して「🗀:Release」を表示させ、押して決定する。**
「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

6 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
グループが解除されます。

途中で設定を止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

リモコンの操作については66ページをご覧ください。

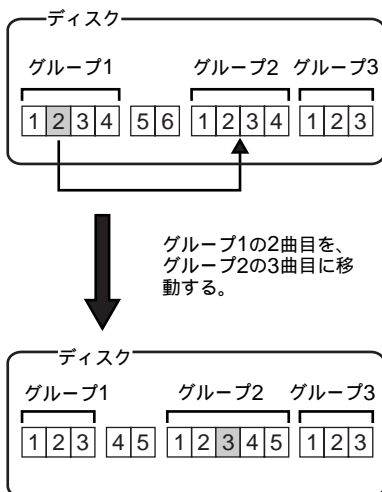
グループに名前をつける

再生中、録音中、停止中に名前をつけたいグループの中の曲を選んでいる状態で名前をつけます。

1 **「名前をつける」の手順4で「🗀:Name」を選び、手順5〜8を行い、名前をつける(39〜41ページ)。**

リモコンの操作については64ページをご覧ください。

グループ設定されたディスクの曲を移動する

グループ設定されていない曲や、グループ内の曲を、別のグループやグループの外に移動することができます。

1 **移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。**
1曲リピート再生になります。

3 **ジョグダイヤルを回して「Move」を表示させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「♫：Move」を表示させ、押して決定する。**

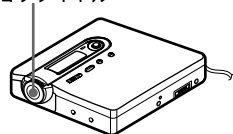
5 **グループの外に曲を移動する場合は、手順6へ進む。**
別のグループ内に曲を移動する場合は、ジョグダイヤルを回して移動先のグループを表示させ、押して決定する。
グループ名が入力されているときは、集中コントロールキーを▶▶I側に倒すと、グループ名を表示させることができます。I◀◀側に倒すと、グループ番号に戻ります。

6 **ジョグダイヤルを回して、グループ内の移動先の曲番（グループ内に移動する場合はグループ内の曲番）を表示させ、押して決定する。**
表示窓の中段に曲番が点滅します。
曲名が入力されているときは、集中コントロールキーを▶▶I側に倒すと、曲名を表示させることができます。I◀◀側に倒すと曲番に戻ります。

途中で設定を止めるときは
■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは
■を押す。

リモコンの操作については64ページをご覧ください。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

1 **移動したいグループ内の曲を再生中に、ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「Move」を点滅させ、押して決定する。**

次ページへつづく

4 ジョグダイヤルを回して「🗀：Move」を表示させ、押して決定する。
表示窓の中段に再生中の曲が入っているグループの番号が点滅します。
グループ名が入力されているときは、集中コントロールキーを▶▶I側へ倒すとグループ名を表示させることができます。I◀◀側へ倒すと、グループ番号に戻ります。

例）1番目のグループ（Group01）を2番目のグループ（Group02）と3番目のグループ（Group03）の間に移動する場合

5 ジョグダイヤルを回して移動したい場所に移し、押して決定する。

途中で設定を止めるときは
■を2秒以上押す。

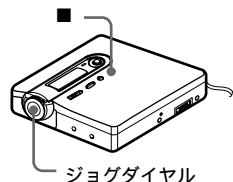
1つ前の設定に戻すときは
■を押す。

リモコンの操作については64ページをご覧ください。

グループを消す

グループ名とグループ内の全ての曲を消去します。
一度消したグループは元に戻すことができません。必ずグループの内容を確認してから行ってください。

ご注意

グループの中にパソコンからチェックアウトした曲が含まれていると、消すことができません。パソコンにチェックインしてください。

1 削除したいグループを選び（「グループの頭出し（グループスキップ）をするには」（47ページ））、内容を確認する。

2 ■を押す。

3 ジョグダイヤルを押す。

4 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を表示させ、押して決定する。

5 ジョグダイヤルを回して「Erase」を表示させ、押して決定する。

6 ジョグダイヤルを回し「🗀：Erase」を表示させ、押して決定する。
表示窓にグループ名と「GP Erase?」が点灯し、「PushENTER」が点滅します。

7 ジョグダイヤルを押して決定する。
グループが削除されます。

途中で止めるときは
■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは
■を押す。

リモコンの操作については65ページをご覧ください。

各種設定

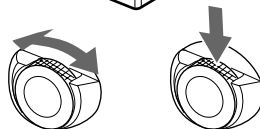
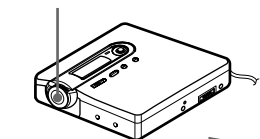
本機では、メニューを使って、録音や再生、編集、その他様々な設定をお好みに合わせて変えることができます。
設定できる項目は以下のとおりです。項目によって、本体とリモコンの両方で設定できるもの、本体のみまたはリモコンのみで設定できるものがあります。

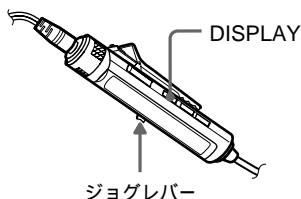
	機能		本体／リモコン	参照ページ
準備	時計合わせ	日付けと時刻を設定できます。	本体	56ページ
操作一般	確認音をつける／消す	確認音を鳴らす／鳴らさないを選べます。	本体	56ページ
			リモコン	56ページ
	ジョグダイヤルの動きかた	ジョグダイヤルを回したときの表示画面が動く方向を変えられます。	本体	57ページ
録音	シンクロ録音をする	CDなどからデジタルで録音するとき、録音操作が楽になります。	本体	25ページ
	長時間録音	録音モード（SPステレオ/LP2/LP4/モノラル）を選べます。	本体	26ページ
	マイク感度を選ぶ	録音するとき、録音対象に応じてマイク感度を変えられます。	本体	28ページ
	トラックマーク（曲番）を自動でつける（曲を分ける）	一定時間ごとに自動でトラックマークをつける設定ができます。	本体	29ページ
	録音レベルの調整	録音レベルを自動／手動で調節できます。	本体	30ページ
	録音開始位置を設定する	上書き録音されないように設定できます。	本体	57ページ
	グループ録音する	常にグループ録音になるように設定できます。	本体	57ページ
再生	再生モードを選ぶ	好きな曲だけ再生したり、繰り返し再生したりと、さまざまな再生モードを選べます。	本体	58ページ
			リモコン	32ページ
	音質を変える	音の臨場感や音質を変えることができます。また、お好みの音質に設定することもできます。	本体	59ページ
			リモコン	33ページ
	再生速度を変える	音程を変えずに再生速度を変えることができます。	本体	61ページ
			リモコン	35ページ
	他の機器とつないで再生する	∩/LINE OUT出力の設定をします。	本体	37ページ
	すばやく再生を始める	再生や頭出しがすばやくできるように設定できます。	本体	61ページ
			リモコン	61ページ

	機能		本体／リモコン	参照ページ
再生（つづき）	ヘッドホンからの音漏れを抑える	音漏れを抑え、より快適な音量にします。	本体	61ページ
			リモコン	61ページ
表示	録音・再生時間、残り時間など、情報を見る	表示窓にいろいろな情報を表示させることができます。	本体	24、62ページ
			リモコン	25、31ページ
	リモコンの表示窓のバックライトを設定する	リモコンの表示窓の照明をつける／つけないなどを設定できます。	リモコン	62ページ
	リモコンの漢字／カナ表示を切り換える	パソコンなどで漢字の文字入力を行ったときの設定です。	リモコン	62ページ
	本体表示窓のコントラストを調節する	本体の表示窓の濃さを調節できます。	本体	63ページ
編集	名前をつける（ネーム）	曲やディスク、グループに名前をつけることができます。	本体	曲名・ディスク名は38ページ、グループ名は50ページ
			リモコン	曲名・ディスク名は63ページ、グループ名は64ページ
	順番を変える（ムーブ）	曲やグループの順番を変えることができます。	本体	曲は41ページ、グループは50、51ページ
			リモコン	64ページ
	消す（イレース）	選んだ曲やグループ、ディスクの全体を消すことができます。	本体	曲・ディスクは44ページ、グループは52ページ
			リモコン	65ページ
	グループにする	ディスクの中の曲をグループにまとめます。	本体	48ページ
			リモコン	65ページ
	グループを解除する	グループを解除します。	本体	50ページ
			リモコン	66ページ
便利な機能	アラームを鳴らす（メロディタイマー）	一定期間経過後にアラームを鳴らすことができます。	本体	66ページ
			リモコン	36ページ
	ディスクの設定を記録する（パーソナルディスクメモリー）	ディスクごとに音量や再生モードなど、さまざまな設定を記憶させることができます。	本体	67ページ
			リモコン	67ページ

メニュー操作のしかた

メニューは本体およびリモコンで行います。

本体で操作するには

1 ジョグダイヤルを押す。
  メニュー画面になります。
2 ジョグダイヤルを回して、項目を選択する。
3 ジョグダイヤルを押して、項目を決定する。
4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
  最後にジョグダイヤルを押した時点で設定が確定します。

リモコンで操作するには

1 DISPLAYを2秒以上押す。
  メニュー画面になります。
2 ジョグレバーをずらして、項目を選択する。
3 ジョグレバーを押して、項目を決定する。
4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
  最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

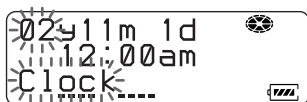
■ボタンを押す。

途中で中止するときは

■ボタンを2秒以上押す。

時計を合わせる

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。パソコンからチェックアウトした曲には録音日時は記録されません。

1 **停止中に、メニューー「OPTION」ー「CLOCK SET」を選ぶ。**
西暦年の数字が点滅します。

2 **ジョグダイヤルを回して年を合わせ、押して決定する。**
月の数字が点滅します。

3 **手順2を繰り返して月、日、時、分を合わせる。**
分を合わせてジョグダイヤルを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

集中コントロールキーを⏮側に倒して、前の項目に戻って入れ直します。変更する必要のない数字は⏭側に倒して先に進めてください。

現在の日時を表示するには

- 本体では
  停止中または録音中にメニューー「DISPLAY」ー「Clock」を選ぶ。
- リモコンでは
  停止中または録音中にDISPLAYをくり返し押す。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中にT MARKを押す。
もう一度押すと12時間表示に戻ります。

時計の設定を保つために

一度時計を合わせると、コンセントや内蔵充電式電池、乾電池のいずれかの電源がつないであれば、時計の設定は保たれます。ただし、内蔵充電式電池が完全に消耗したり、BUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにすると、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合は、もう一度時計を設定し直してください。

ご注意

- 特に大切な録音で録音日時を記録したいときは、現在の日時を表示させ、時計が合っていることを確認してください。
- 月に3分程度の誤差が生じることがあります。

確認音を消す

本体・リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないを設定することができます。

1 **メニューー「OPTION」ー「BEEP」を選ぶ。**

2 **「BEEP OFF」を選ぶ。**

設定を戻すには

「BEEP ON」を選ぶ。

ジョグダイヤルの動きを変える

お買い上げ時の設定では、ジョグダイヤルを下方向へ回すと、表示画面は下方向へスクロールしますが、これを逆向きに変えることができます。
本体でのみ操作できます。

1 **メニュー**－「OPTION」－「JOG DIAL」**を選ぶ。**

2 「REVERSE」**を選ぶ。**

設定を戻すには

「DEFAULT」を選ぶ。

上書きをせずに録音する

録音開始位置を、上書きをせずに常に録音済み部分の後ろから録音する設定に変更することができます。お買い上げ時は上書きで録音する設定になっています。
本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー**－「OPTION」－「REC-Posi」**を選ぶ。**

2 「From End」**を選ぶ。**

設定を戻すには

「From Here」を選ぶ。

- 録音開始位置が「From Here」に設定されていても、一時的に上書き録音したくないときは、END SEARCHボタンを押してから録音を開始すると、録音済み部分の後ろから録音を始めることができます。またEND SEARCHボタンを押したとき、録音できる残り時間が表示されます。
- 録音するとき、グループ録音（「□:REC」）の設定が常にグループになるように（「□:REC ON」）設定されていると、常に「From End」の設定になります（このページ）。

録音をするとき、常にグループにして録音する

この設定をすると、次の録音から
●RECつまみを右にずらすだけで常にグループ録音ができるようになります。
MDLP録音などで、複数のCDをアルバム別に続けて録音する時などに便利です。
本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー**－「REC SET」－「□：REC」**を選ぶ。**

2 「□：REC ON」**を選ぶ**

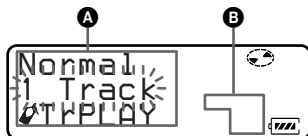
設定を戻すには

「□：REC OFF」を選ぶ。

再生モードを選ぶ

1 **メニュー－「PLAY MODE」を選ぶ。**

2 **選択したい再生モードを選ぶ。**

Ⓐを選ぶとⒷが点灯する。

表示Ⓐ/Ⓑ*	再生状態
Normal /—	通常の再生
1 Track/1	再生中の1曲を再生
TrPLAY/	ブックマークがついている曲だけを順番に再生
Shuffle/SHUF	全曲を順不同に並べかえて再生
Program/PGM	曲を好きな順に並べかえて再生

* グループ設定されたディスクでは、グループ再生モードも表示されます。詳しくは「グループ単位で再生モードを選ぶ／選んだモードで繰り返し聞く（グループリピート再生）」（59ページ）をご覧ください。

3 **「RepeatON」（繰り返して再生）または「RepeatOFF」（繰り返さずに再生）を選ぶ。**

「RepearON」を選ぶと、Ⓑに「⊂」が表示され、手順2で選んだ再生モードで繰り返し再生します。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

ブックマークをつけるには

1 **ブックマークをつけたい曲を再生し、►をを2秒以上押す。**

ブックマーク再生の1曲目が確定します。

2 **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**

ブックマーク再生

1 **「再生モードを選ぶ」の手順2で「TrPLAY」を選ぶ（このページ）。**

2 **「RepeatON」または「RepeatOFF」を選ぶ。**

解除するには

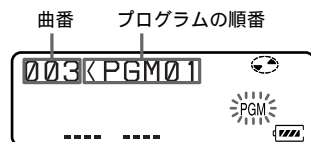
ブックマークを消したい曲を再生し、►を2秒以上押す。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 **「再生モードを選ぶ」手順2で「Program」を選ぶ（このページ）。**

2 **「RepeatON」または「RepeatOFF」を選ぶ。**

3 **ジョグダイヤルを回して曲を選び、押して決定する。**

選んだ曲が確定します。

4 **手順3を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。**

5 **選び終わったらジョグダイヤルを2秒以上押す。**

詳しい説明とリモコンの操作については、32、33ページをご覧ください。

グループ再生する

1 **「再生モードを選ぶ」の手順2で「□：Normal」を選ぶ（このページ）。**

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

1 再生中、GROUPを押す。
2 集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒す。

詳しい説明とリモコンの操作については、47ページをご覧ください。

グループ単位で再生モードを選ぶ／選んだモードで繰り返し聞く（グループリピート再生）

1 「再生モードを選ぶ」の手順2までを行う（58ページ）。
通常の再生モードに続いて次のグループ再生モードが表示されます。

表示	再生状態
: Normal	グループ通常再生（先頭グループから順にグループごとに1回再生）
: Shuffle	イングループシャッフル（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
: Program	グループプログラム（グループ単位で再生の順番を変える）

2 「RepeatOFF」または「RepeatON」を選ぶ。

詳しい説明とリモコンの操作については、47ページをご覧ください。

好きな順にグループを並べかえて聞く（グループプログラム再生）

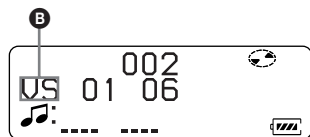
「好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）」（58ページ）と同様の手順で、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。

詳しい説明とリモコンの操作については、47、48ページをご覧ください。

音質を変える
（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

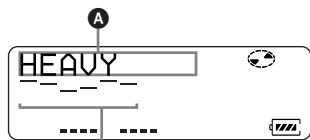
1 再生中、メニュー－「SOUND」－「V-SUR」を選ぶ。

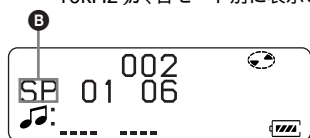
2 ジョグダイヤルを回してサラウンドの種類を選び、押して決定する。

ジョグダイヤルを回すと、Ⓐが次のように変わり、ジョグダイヤルを押すと、Ⓑが表示されます。

Ⓐ	Ⓑ
STUDIO	VS
LIVE	VL
CLUB	VC
ARENA	VA

音質を変える（6バンドイコライザ）

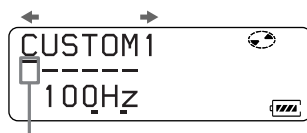
1 **再生中に、メニュー－「SOUND」－「SOUND EQ」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してサウンドの種類を選び、押して決定する。**

各周波数ごとのレベル（100Hz～10kHz）が、各モード別に表示される

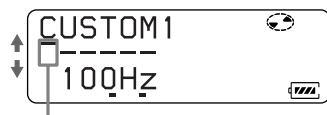
ジョグダイヤルを回すと、Ⓐが次のように変わります。
ジョグダイヤルを押すと、Ⓑが表示されます。

Ⓐ	Ⓑ
HEAVY	SH
POPS	SP
JAZZ	SJ
UNIQUE	SU
CUSTOM1	S1
CUSTOM2	S2

好みの音質にする

1 **再生中に、メニュー－「SOUND」－「SOUND EQ」－「CUSTOM1」または「CUSTOM2」を選ぶ。**

2 **集中コントロールキーを⏮または⏭側に倒して周波数を選ぶ。**

周波数（100Hz）

周波数は次の6つから選べます。
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

3 **集中コントロールキーをVOL+,–側に倒してレベルを調節する。**

レベル（+10dB）

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

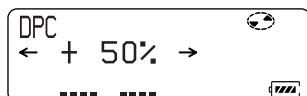
設定を解除するには

「SOUND OFF」を選ぶ。

詳しい説明とリモコンの操作については、33～35ページをご覧ください。

再生速度を変える（デジタルピッチコントロール）

1 再生中に、メニュー－「USEFUL」－「DPC」を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回してお好みの速度を選び、押して決定する。

詳しい説明とリモコンの操作については、35ページをご覧ください。

すばやく音を聞く（クイックモード）

再生ボタンを押したあとや、曲を頭出ししたあと、すばやく再生音を聞くことができます。

1 停止中または再生中に、メニュー－「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。

2 「QUICK」を選ぶ。

本体の表示窓

リモコンの表示窓

設定を戻すには

「NORMAL」を選ぶ。

ご注意

- 設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなりますので、毎日充電することをおすすめします。
- 何も操作がされない状態（ふたの開閉を含む）で、17時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、その後はまたクイックモードになります。

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS－オートボリュームリミッターシステム－快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 メニュー－「OPTION」－「AVLS」を選ぶ。

2 「AVLS ON」を選ぶ。
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

設定を解除するには

「AVLS OFF」を選ぶ。

表示窓で情報を見る

1 **再生中に、メニュー－「DISPLAY」を選ぶ。**

2 **確認したい表示モードを選ぶ。**

A（選んだ項目）	B	C
—（LapTime）	曲番	経過時間
1 Remain	曲番	1曲中の残り時間
GP Remain	グループ名	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
曲名（Title）	ディスク名	グループ名
サウンドモード名（Sound）	各サウンドモード別表示	—
—	Batt Stat	使用中の電源（内蔵充電式電池：BLT-IN 乾電池：ADD-ON 家庭用電源：AC）
RecDate	録音年月日	録音時刻（Clock）

ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

詳しい説明とリモコンの操作については、31ページをご覧ください。

表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させない設定をすることができます。リモコンでのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー「OPTION」－「BACKLIGHT」を選ぶ。**

2 **お好みの設定を選ぶ。**

表示	設定
AUTO	操作中は点灯。何もしないで数秒たつと消灯。
ON	動いているときは常に点灯。
OFF	常に消灯。

パソコンなどで入力した漢字のタイトルを見る

付属のSonicStageソフトウェアを使って、漢字やひらがなで文字入力をすると、本機のリモコンで表示させることができます。
表示のしかたは2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げの設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリア*と半角エリア*にそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアにアーティスト名など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

* 詳しくは、「SonicStage Ver.1.5 簡単ガイド」をご覧ください。

リモコンでのみ操作できます。

「漢字カナ交互」に設定するには

1 **メニュー－「OPTION」－「表示方式選択」を選ぶ。**

2「漢字カナ交互」を選ぶ。

ご注意

本機では、パソコンソフトでの文字入力時には全角にしていても、英数時とスペースについては、全て半角で表示されます。

表示窓の濃淡を調節する（コントラスト調整）

本体の液晶表示のコントラストを調節することができます。
本体でのみ操作できます。

1 停止中に、メニュー－「OPTION」－「CONTRAST」を点滅させ、押して決定する。

2 ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、押して決定する。

ご注意

リモコンで本体のコントラストは調節できません。また、リモコンの表示窓のコントラストは調節できません。

名前をつける（ネーム）

名前をつける

1 メニュー－「EDIT」－「Name」を選ぶ。

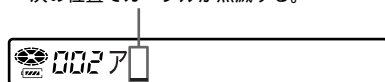
2 次の表示を選ぶ。

つける名前	表示
曲名をつけるとき	Track Name
ディスク名をつけるとき	Disc Name

3 回転つまみを回して文字を選び、ジョグレバーを押して決定する。

選んだ文字が点灯して決定します。決定した次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置でカーソルが点滅する。

002 ア

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能	操作
文字カーソルを左右に移動する。	ジョグレバーを⏮または⏭側にずらす。
文字を1文字ずつ変える。	回転つまみを回す（VOL ＋、–）。
文字を決定する。	ジョグレバーを押す。
名前を確定する。	ジョグレバーを2秒以上押す。
カナ→アルファベット→数字と記号の順に切り換える。	P MODE/↻を押す。
カタカナ入力時に「ア」→「カ」→「サ」→「タ」の順に文字が選べる。	回転つまみを回したままにする（VOL ＋、–）。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	🗀 ＋を押す。
カーソル上の文字を削除する。	🗀 –を押す。
文字入力をやめる。	■を2秒以上押す。

4 手順3を繰り返して名前をつける。

5 ジョグレバーを2秒以上押す。

詳しい説明と本体の操作については、38～41ページをご覧ください。

グループに名前をつける

1 **「名前をつける」の手順2で「Group Name」を選び、手順3～5を行い、名前をつける（63ページ）。**

詳しい説明と本体の操作については、50ページをご覧ください。

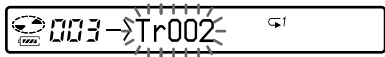
名前を変更する

「名前をつける」（63ページ）の手順を行ってください。

詳しい説明と本体の操作については、38～41ページをご覧ください。

曲順を変える（ムーブ）

1 **移動したい曲の再生中に、メニュー－「EDIT」－「Move」－「Track Move」を選ぶ。**
例えば、3曲目を移動するときは、表示窓に「→Tr003」と表示されます。

2 **ジョグレバーをずらして、移動先の曲番を点滅させる。**
例えば、2曲目に移動するときは、表示窓に「→Tr002」と表示されます。

3 **ジョグレバーを押して決定する。**

詳しい説明と本体の操作については、41、42ページをご覧ください。

グループ設定されたディスクの曲を移動する

1 **移動したい曲の再生中に、メニュー－「EDIT」－「Move」－「Track Move」を選ぶ。**

2 **グループの外に曲を移動する場合は、手順3へ進む。**
別のグループ内に曲を移動する場合は、ジョグレバーをずらして移動先のグループを表示させ、押して決定する。

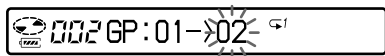
3 **ジョグレバーをずらしてグループ内の移動先の曲番（グループ内に移動する場合はグループ内の曲番）を表示させ、押して決定する。**

詳しい説明と本体の操作については、50、51ページをご覧ください。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

1 **移動したいグループ内の曲を再生中に、メニュー－「EDIT」－「Move」－「Group Move」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして移動したい場所に移し、押して決定する。**

例）1番目のグループ（GP01）を2番目のグループ（GP02）に移動する場合

詳しい説明と本体の操作については、51、52ページをご覧ください。

曲やグループを消す

一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

1曲を消す

1 **消したい曲の再生中に、メニューー「EDIT」ー「Erase」ー「Track Erase」を選ぶ。**
「Erase OK?」、「PushENTER」が表示されます。

2 **ジョグレバーを押して決定する。**

全曲を消す

1 **消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **メニューー「EDIT」ー「Erase」ー「Disc Erase」を選ぶ。**
「AllErase?」、「PushENTER」が表示されます。

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

詳しい説明と本体の操作については、44、45ページをご覧ください。

グループを消す

1 **削除したいグループを選び(「グループの頭出し(グループスキップ)をするには」(47ページ))、内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **メニューー「EDIT」ー「Erase」ー「Group Erase」を選ぶ。**

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

詳しい説明と本体の操作については、52ページをご覧ください。

曲やグループを1つのグループにまとめる(グループ設定)

1 **停止中に、メニュー ー「EDIT」ー「Group Set」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらしてグループの先頭にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**

003 STR 001

3 **ジョグレバーをずらしてグループの最後にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**

4 **グループ名をつける(「名前をつける」(63ページ)の手順3〜5参照)。**

詳しい説明と本体の操作については、48、49ページをご覧ください。

グループを解除する

1 **解除したいグループを選び（「グループの頭出し（グループスキップ）をするには」（47ページ））、内容を確認する。**

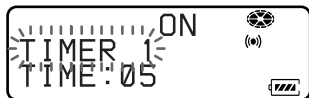
2 **■を押す。**

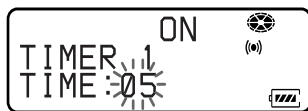
3 **メニュー－「EDIT」－「GroupRelease」を選ぶ。**
「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

詳しい説明と本体の操作については、50ページをご覧ください。

アラームを鳴らす（メロディタイマー）

1 **メニュー－「USEFUL」－「M-TIMER」－「ON」を選ぶ。**
((•))が点灯し、音の種類を設定できるようになります。

2 **ジョグダイヤルを回して、アラームの種類を選び、押して決定する。**
アラームの種類については36ページ、リモコン操作の手順5をご覧ください。

3 **ジョグダイヤルを回して、アラームが鳴るまでの時間を選ぶ。**

ジョグダイヤルを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

予約を解除するには

「OFF」を選ぶ。

アラームの音を止めるには

いずれかのボタンを押す。

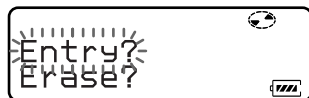
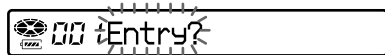
詳しい説明とリモコンの操作については、36、37ページをご覧ください。

ディスクごとに設定を記憶する（パーソナルディスクメモリー）

ディスクの設定情報を本体に登録します。一度登録したディスクを再度入れなおすと、設定情報は自動的に呼び出されます。次の設定情報が登録できます。

- 音量
- 再生モード
- グループモード
- プログラム再生
- 音質（バーチャルサラウンド／6バンドイコライザ）
- 再生速度（デジタルピッチコントロール）
- ブックマーク

1 停止中、再生中、再生一時停止中に、メニュー－「USEFUL」－「PERSONAL」を選ぶ
「Entry?」が点滅します。

本体の表示窓

リモコンの表示窓

2 本体ではジョグダイヤルを、リモコンではジョグレバーを押して決定する。
「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

登録を消すには

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。
2 上記手順1の後、「Erase？」を選ぶ。
「Erase OK」と表示されディスクの設定情報は登録から削除されます。

ご注意

登録していないディスクでこの操作を行うと、「No Entry!」が表示されます。

パーソナルディスクメモリーに登録したディスクを再度入れると、「PERSONAL」が表示されます。

ご注意

- ディスク20枚分まで登録することができますが、20枚を越えると再生した時期が古いものから、自動的に消去されます。
- 一度登録したディスクを編集（名前の編集は除く）したり、録音したりすると、別のディスクと認識され、登録されている情報は無効になります。その場合は、もう一度登録し直してください。

メニュー一覧

メニュー1はメニューに入ったときに選べる項目、メニュー2はメニュー1を選んだ後に選べる項目、メニュー3はメニュー2を選んだ後に選べる項目です。●印がついているものは、お買い上げ時の設定です。

本体のメニュー

メニュー 1	メニュー 2	メニュー 3
EDIT	Name	:Name ←→ :Name ←→ :Name
	: Set	—
	: Release	—
	Move	:Move ←→ :Move
	Erase	:Erase ←→ :Erase ←→ :Erase
DISPLAY	Lap Time	—
	RecRemain (停止・録音中) / 1 Remain(再生中)	—
	GP Remain	—
	AllRemain	—
	Title	—
	Sound	—
	Batt Stat	—
	Clock	—
PLAY MODE*	Normal	—
	1 Track	—
	TrPLAY	—
	Shuffle	—
	Program	—
	:Normal	—
	:Shuffle	—
	:Program	—
SOUND	SOUND OFF	—
	V-SUR	STUDIO ←→ LIVE ←→ CLUB ←→ ARENA
	SOUND EQ	HEAVY ←→ POPS ←→ JAZZ ←→ UNIQUE ←→ CUSTOM1 ←→ CUSTOM2

メニュー 1	メニュー 2	メニュー 3
USEFUL	PERSONAL	Entry? ←→ Erase?
	M-TIMER	OFF (●) ←→ ON
	DPC	—
	AUDIO OUT	HeadPhone (●) ←→ LINE OUT**
REC SET	REC MODE	SP (●) ←→ LP2 ←→ LP4 ←→ MONO
	RecVolume	Auto REC (●) ←→ ManualREC
	TIME MARK	OFF (●) ←→ ON
	MIC SENS	SENS HIGH (●) ←→ SENS LOW
	🗀:REC	🗀:REC ON ←→ 🗀:REC OFF (●)
	SYNC REC	SYNC OFF (●) ←→ SYNC ON
OPTION	AVLS	AVLS OFF (●) ←→ AVLS ON
	BEEP	BEEP OFF ←→ BEEP ON (●)
	REC-Posi	From Here (●) ←→ From End
	PowerMode	NORMAL (●) ←→ QUICK
	CONTRAST	—
	JOG DIAL	DEFAULT (●) ←→ REVERSE
	CLOCK SET	—

* PLAY MODEでMenu 2を選んだ後に、選んだ再生モードで再生を繰り返す／繰り返さない（RepeatON/RepeatOFF）設定をすることができます。
** 付属のリモコンが接続されていないときに表示されます。

リモコンのメニュー

メニュー 1	メニュー 2	メニュー 3
EDIT	Name	Track Name ←→ Group Name ←→ Disc Name
	Group Set	—
	GroupRelease	—
	Move	Track Move ←→ Group Move
	Erase	Track Erase ←→ Group Erase ←→ Disc Erase
USEFUL	PERSONAL	Entry? ←→ Erase?
	M-TIMER	OFF (●) ←→ ON
	DPC	—
OPTION	AVLS	AVLS OFF (●) ←→ AVLS ON
	BEEP	BEEP OFF ←→ BEEP ON (●)
	BACKLIGHT	AUTO (●) ←→ ON ←→ OFF
	表示方式選択	漢字カナ交互 ←→ 漢字優先（●）
	PowerMode	NORMAL (●) ←→ QUICK

電源について

家庭用電源（コンセント）以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

- 内蔵充電式電池（リチウムイオン）
- 単3形アルカリ乾電池（付属の乾電池ケースを使う）

録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。電池をお使いの場合は、電池の消耗による失敗を防ぐため、内蔵充電式電池を充分に充電してお使いください。乾電池をご使用になるときは、新しい乾電池をお使いください。

電池の持続時間

電池の持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

録音　(JEITA[1])

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
内蔵充電式電池[2]	約8.5時間	約11時間	約14時間
アルカリ乾電池[3]	約7.5時間	約10時間	約11.5時間
内蔵充電式電池＋アルカリ乾電池	約15時間	約20時間	約26.5時間

[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
[2] 充電式リチウムイオン電池（内蔵）、100%充電時。
[3] 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

再生

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
内蔵充電式電池	約17時間	約20時間	約24時間
アルカリ乾電池	約27時間	約32時間	約36時間
内蔵充電式電池＋アルカリ乾電池	約42時間	約52時間	約58時間

一部回路設計変更により、商品発表時（2002年9月2日）の電池持続時間が上記の通り変更となりました。

充電時期は

ご使用中、本体やリモコンの表示窓の、電池残量表示でお知らせします。

電池残量が少なくなっています。

↓

電池が消耗しています。

↓

残量がありません。表示窓に「LOW BATT」が点滅し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

ご注意

100%充電されていない状態でも、残量表示が全て点灯することがありますが、充電量（充電時間）が少なければ、持続時間は短くなります。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプター（付属のUSBクレードル／乾電池ケース専用）について

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

本機を廃棄されるときのご注意

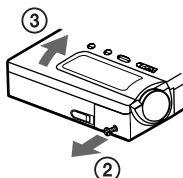
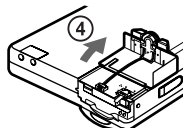
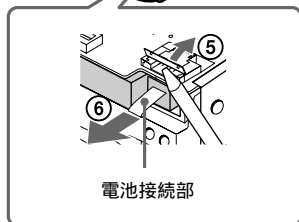
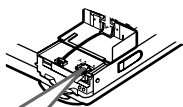
環境保護のため、内蔵の充電式電池を取り出してください。

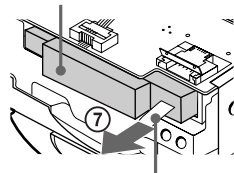
本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジをはずさないでください。

内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。

内蔵充電式電池の取り出しかた

取り出しかたについては、次の手順で行ってください。

① 本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにする。
② ジョグダイヤル横のネジ（1本）をはずす。
③ ふたをあける。

④ ジョグダイヤルブロックをひらく。

⑤ 基板コネクターを起こす。
⑥ 電池接続部をつまんで引き出す。

⑦ 電池接続部を引っぱって、電池を取り出す。

次ページへつづく

⑧ 電池接続部の金属部分に、セロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Li-ion

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。ご使用にならなくなった本機は、前記の方法で充電式電池を本機から取り出してください。

不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。
- 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、専用USBクレードルから本体を外したり、専用USBケーブルを抜いたりしないでください。正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

温度上昇について

充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

充電について

- 付属のUSBクレードルは本機専用です。他機の充電はできません。
- 充電は、0℃〜+40℃の場所で行ってください。また、温度によっては充電にかかる時間が異なります。（温度が低いと、かかる時間が長くなります。これは内蔵のリチウムイオン電池の特性によるものです。）
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、内蔵充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、内蔵充電式電池の交換が必要です。お買い上げ店または、ソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体をUSBクレードルからはずしてください。また、3ヵ月以上使用しないときは、本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチ（充電式電池用スイッチ）もOFFにしておいてください。

ミニディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

— **ミニディスクに直接触れない**
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

シャッター　カートリッジ

— **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**

— **置き場所について**
直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。

— **定期的にお手入れを**
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。

- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

お手入れについて

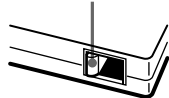
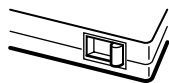
表面が汚れたときは

水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴があいた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

その他

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式
磁界変調光学方式

再生読み取り方式
非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー
GaAIAsMQWダイオード、
λ=790nm

録音再生時間(MDW-80使用時)
モノラル最大 160分
ステレオ最大 320分

回転数
約350 rpm〜3600 rpm(CLV)

エラー訂正方式
ACIRC(アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード)

サンプリング周波数
44.1kHz

サンプリングレートコンバーター
入力:32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

コーディング
ATRAC(アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング)
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式
EFM

周波数特性(光デジタル・アナログ入力時)
20〜20,000 Hz±3 dB

入力端子[1]
MIC:ステレオミニジャック(最小入力レベル 0.25 mV)
LINE IN:アナログ時　ステレオミニジャック(最小入力レベル 49 mV)
光デジタル時　光ミニジャック

出力端子
🎧/LINE OUT[2]:ステレオミニジャック(専用リモコンジャック)/
規定出力　194 mV (10 kΩ)

実用最大出力(DC時)[3]
ヘッドホン:5 mW + 5 mW(16 Ω)

電源
本体:
- 充電式リチウムイオン電池(内蔵)
LIP-3WMB、3.7V、340mAh、Li-ion　1個
- アルカリ乾電池(単3形)　1個

USBクレードル:
ACパワーアダプター DC 6V, AC 100V, 50/60 Hz

電池持続時間[3]
「電池の持続時間」(70ページ)参照

本体寸法
約78.5 × 73.3 × 13.8 mm
(幅/高さ/奥行き、突起部含まず)

最大外形寸法[3]
約83.8 × 74.3 × 18.9 mm
(幅/高さ/奥行き)

質量
約84g(内蔵充電式電池含む)

1) 入力(光デジタル)と入力(アナログ)は兼用ジャック
2) ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャック
3) JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

光デジタルケーブル
　光角形プラグ←→光ミニプラグ
　POC-5/10/15AB
　光ミニプラグ←→光ミニプラグ
　POC-5/10/15B
　光ミニプラグ（入／出力）←→L型7
　ピンコネクターPOC-DA12SP
接続コード(アナログ)
　ステレオミニプラグ←→ピンプラグ
　(×2) RK-G129
　ステレオミニプラグ←→ステレオミニプ
　ラグ RK-G136
カーコネクティングパックCPA-8
カーバッテリーコードDCC-E260[1)]
ステレオマイクロホンECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957
ステレオヘッドホン[2)]MDR-EX70SL、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-Z510/Z30など
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ
MDソフトキャリングポーチMD-4SCPL/N

ロータリーコマンダーRM-WMC1、MDラベルプリンターMZP-1、ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラーRPT-M1は使用できません。

1) 付属の乾電池ケースを本体に取り付け、乾電池ケースにつないでください。USBクレードルにはつなげません。
2) ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

その他

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（83ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる

http://www.sony.co.jp/support-pa/ で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

充電について

症状	原因	対策
充電ができない、または充分に充電ができない	本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチがOFFになっている。	BUILT-IN BATTERYスイッチをONにしてください。
	充分に充電されている（お買い上げ時は充電された状態になっています）。	表示窓のマークで電池の残量を確認してください。
	お買い上げ時や長い間使わなかった場合は、電池の特性により持続時間が短いことがある。	何回か充放電を繰り返すと、充分に充電されるようになります。
	充電スタンドの充電用端子が汚れている。	充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
	内蔵充電式電池が消耗しきっている（USBクレードルにおいても表示窓に何も表示されない）。	充電してください。1分程すると充電が始まります。それでも充電が始まらないときは、もう一度本体をUSBクレードルに置き直してください。
	充電している場所の温度が低すぎる、または高すぎる（「CannotCHG」が表示される）。	充電は0℃～+40℃の場所で行ってください。
使っていなかったのに内蔵充電式電池が消耗してしまった。	クイックモードの設定が「QUICK」になっていた（61ページ）。	クイックモード設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。充電が充分ではない状態でかつ、設定が「QUICK」になっていると、使わない間に内蔵充電式電池が消耗しまうことがあります。そのときは、もう一度充電してください。
充分に充電しても使える時間が通常の半分程しかできない。	電池の寿命かもしれません。	お買い上げ店、またはサービス窓口で、内蔵充電式電池を交換してください。
充電中に本体やUSBクレードルが熱くなる。	故障ではありません。	—

録音中

症状	原因	対策
上書き録音した	録音開始位置の設定（「REC Posi」）が「From Here」になっている。	録音開始位置の設定（「REC Posi」）を「From End」にしてください（57ページ）。
「REC-Posi」の設定が「From Here」になっているのに、ディスクの最後から録音を始めてしまう	グループ録音（「:REC」）の設定が、常にグループになるように（「:REC ON」）設定されている。	メニューの「:REC」の設定を「:REC OFF」にしてください（57ページ）。
録音できない	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおしてください（19、27ページ）。

症状	原因	対策
録音できない	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーを家庭用電源につなぎ、音飛びガード機能(ESPなど)を「切」にしてください。
	抵抗入りの接続コードを使っている（アナログ入力録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使ってください。
	録音レベルが小さすぎる（手動調節時）。	録音レベルを調節してください(30ページ)。
	録音中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消えています。初めから録音しなおしてください。
	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取りかえてください。
	ディスクの残り時間が12秒以下である（「DISC FULL」が表示される。	他の録音用ディスクと取りかえてください。
途中で録音が止まってしまう	パソコンからチェックアウトした曲が入っているMDに上書き録音しようとした。（パソコンからチェックアウトした曲は上書き録音できません。録音は自動的に終了します。）	チェックアウトした曲をパソコンにチェックインしてから録音してください。 上書き録音をせずに、ディスクの最後から録音を始めてください。
モノラルで録音中、ヘッドホンからステレオで聞こえる	デジタル録音中、ヘッドホンからはステレオで聞こえます。（録音された音はモノラルになります。）	—
録音時、瞬間的なノイズが発生する	LP4ステレオ録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。	ステレオ録音またはLP2ステレオ録音をしてください。
録音終了後、ふたが開かない	録音終了後は「TOC Edit」の表示が消えるまで、ふたは開きません。	—
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出て録音が開始できない。	システム上の制約です。254曲録音されるとそれ以上の録音はできません（92ページ）。	さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	システム上の制約です。短い曲の場合、何曲か消しても録音できる残り時間が増えないことがあります（93ページ）。	—
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります（93ページ）。	—
ディスクの録音可能時間いっぱいにチェックアウトできない。（例：80分ディスクに対してLP2ステレオ録音で160分チェックアウトできない。）	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります（93ページ）。	—

症状	原因	対策
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て録音が止まる。	システム上の制約です。同じディスクで録音、消去をくりかえしたためと思われます（92ページ）。	さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない	リピート再生を指定している。	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではP MODE/⮎ボタンを2秒以上押して、⮎（リピート）表示を消してから再生を始めてください（32、58ページ）。
	再生モードを変えた。	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではP MODE/⮎ボタンを押して、通常の再生に戻してから再生を始めてください（32、58ページ）。
ディスクの1曲目から再生しない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、本体では►を、リモコンではジョグレバーを、2秒以上押したままにしてください。
	パーソナルディスクメモリーに登録した。	パーソナルディスクメモリーから削除してください（67ページ）。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
	1曲の録音時間が極端に短い。	短いトラック（曲）を作らないでください（92ページ）。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
録音したMDを再生すると、音が小さい。	アナログで録音した。（デジタル録音の場合は、自動的に録音元と同じレベルで録音されます。）または、抵抗の入っている接続コード（別売り、RK-G128/RK-G134など）を使って録音した。	正しい接続コード（別売り、RK-G129/RK-G136など）を使う。
	録音レベルが小さかった。	録音レベルを手動で調節して録音する（30ページ）。
音が大きくならない	AVLSが働いている	AVLSの設定を解除してください（61ページ）。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	🎧/LINE OUTジャックにしっかり差し込んでください。 リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンとリモコンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。

症状	原因	対策
音量が調節できない、雑音が入る、またはバーチャルサラウンド、6バンドイコライザが働かない	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている。	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。または、リモコン付きヘッドホンをつないでください。
アナログ接続をして、スピーカーやアンプなどから音を聞くと、音が小さい	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「HeadPhone」になっている。	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINE OUT」にしてください（37ページ）。
ヘッドホンをつないでいると、音が大きい	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている。	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。または、リモコン付きヘッドホンをつないでください。
本体で早送りまたは早戻しをすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう	グループスキップが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音がとぎれることがあります（92ページ）。	—
ラジカセやアンプなどを使って録音したものを再生をする、またはラジカセやアンプなどをつないで再生をすると、片方の音が出ない	ラジカセやアンプなどにモノラルのコードを使って接続すると、片方（R CH）の音が出ません。	必ずステレオのコードを使ってください。接続先の機器がモノラル使用の場合は、ステレオのコードを使っても片方（R CH）の音は出ません。

編集中

症状	原因	対策
ふたが開かない	編集中に電源をはずしたり電池が消耗している。	電源を入れ直し充電するか、新しい乾電池と交換してください。
本機で編集できない	編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの編集内容は消えています。やり直してください。
チェックアウトした曲が消去できない	システム上の制約です。チェックアウトした曲は、パソコンにチェックインして、SonicStageを使って消去してください。	—
曲番が消せない	システム上の制約です。つなごうとする曲のデータが短い場合、その曲のトラックマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことはできない場合があります。また、異なる録音モードで録音された曲の間のトラックマークは消すことができません（93ページ）。	—

症状	原因	対策
他機種で編集ができない	ステレオ長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。	本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集してください。

グループ機能中

症状	原因	対策
グループ機能が働かない	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。
新しいグループが録音されない／新しいグループを設定できない	システム上の制約です。入力した文字数の合計が約1700文字を超えた場合、グループで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません（94ページ）。	—

その他一般

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない	本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチがOFFになっている。	BUILT-IN BATTERYスイッチをONにしてください。
	内蔵充電式電池を充電していない。	充電してください。
	VOL（音量）が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（12、17ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 6Vジャックとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電するか、乾電池を新しいものと交換する（16、17ページ）。またはACパワーアダプターをつないでください。

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおしてください（17ページ）。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしたり、録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	内部システムが誤動作している。	USBクレードルから、一度本体を外し、パソコンを再起動してから装着してください。 本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにして、もう一度ONにしてください。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 **1** 本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにする。 **2** 約30秒間そのままにする。 **3** BUILT-IN BATTERYスイッチをONにして、電源をつなぐ。
時計が正確に動かない／時計表示が出ない（--y--m--dになる）／録音日時が記録されない	内蔵電池が完全に消耗したため、お買い上げ時の設定に戻ってしまった。	ACパワーアダプターをコンセントにつないで充電し、時計を合わせてください（56ページ）。
	時計合わせをしていない。	時計を合わせてください（56ページ）。
	本体裏面のBUILT-IN BATTERYスイッチを一度OFFにしたため、お買い上げ時の設定に戻ってしまった。	時計を合わせてください（56ページ）。
	パソコンからチェックアウトした曲は、録音日時が記録されません。	—
液晶表示が通常表示と違う	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。
ACパワーアダプターで使用時、停止後もしばらく表示窓がかすかに光っている	システム上の制約です。USBクレードルでの充電時間を積算するために、停止後3分たってから電源が切れることになっています。	—
チェックアウトした曲の演奏時間がパソコン上の演奏時間と一致しない	本体とパソコンの計算誤差です。	—

メッセージ一覧

本体の表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
FULL	21曲めのブックマークをつけようとした（32ページ）。	ブックマークをつけられるのは20曲までです。20曲以内でブックマークをつけてください。
AVLS	AVLSの設定が「AVLS ON」になっているので、これ以上音量をあげられない（61ページ）。	AVLSの設定を「AVLS OFF」にしてください。
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
CannotCHG	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内で充電してください。
Charging	充電中に表示される（16ページ）。	—
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（録音時）。	他の録音用ディスクと取り換える。
ERROR	内部システムが誤動作している。	82ページの表中の手順1～3を行ってください。
GroupFULL	100個めのグループを作ろうとした。	グループは99個まで作れます。99個以内でグループを作ってください。
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（12、17ページ）。
LINE OUT	/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、集中コントロールキーをVOL +、– 側に押した。	ジョグダイヤルを使って、/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える（16、17ページ）。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をする。
MENU	本体でメニューの選択中にリモコンキーのどれかを押した。	本体で操作する。
	リモコンでメニューの選択中に本体キーのどれかを押した。	リモコンで操作する。

表示	意味	対策
NAME FULL	曲名やグループ名、ディスク名を200文字を越えて入力しようとした。 曲名、グループ名、ディスク名を合計約1700文字を越えて入力しようとした。	ディスク名、グループ名、曲名を短くして入力する（38、50ページ）。
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	アナログ入力（LINE IN）を使って録音する（27ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO EDIT	グループ設定されていないディスクで、メニューの「🗀:Erase」を選んだ（52ページ）。	グループ設定がされていないディスクではグループを消すことはできません。
	録音モードの異なる曲を１つにつなげようとした（43ページ）。 トラックマークの上にトラックマークを上書きしようとした（42ページ）。 録音中に、メニューの「🗀:Set」、「🗀:Release」、「Move」、「Erase」を選んだ。	—
No Entry!	パーソナルディスクメモリーを登録していないディスクでパーソナルディスクを削除しようとした。	—
No MARK	ブックマークがついていない状態でブックマーク再生（「 TrPLAY」）をしようとした。	ブックマークをつけてから（32ページ）操作する。
NO SET	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定中にデジタルピッチコントロールの設定をしようとした。	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてから操作する。
	録音中に次の操作をしようとした。 • パーソナルディスクメモリーの設定をしようとした（67ページ）。 • メロディータイマーの設定しようとした（36、66ページ）。 • デジタルピッチコントロールの設定をしようとした（35、61ページ）。 • 録音モードの設定をしようとした（26ページ）。 • 録音レベルの設定をしようとした（30ページ）。 • メニューの「🗀:REC」を選んだ（57ページ）。 • グループ録音中にメニューの「REC Posi」を選んだ（57ページ）。	—
NoOPERATE	リモコンでプログラム設定中に🗀+、–を押して、グループスキップしようとした（47ページ）。 シンクロ録音中にⅡボタンまたはT MARKボタンを押した。 デジタル接続で録音中にオートタイムマークの設定をしようとした（29ページ）。	—

表示	意味	対策
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（73ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。
Push STOP	「TOC Edit」が表示されているときに、ふたを開けようとした。	■ボタンを押した後、「TOC Edit」の表示が消えてからふたを開けてください。
READ ERR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直す。
REC ERR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直す。
Rehearsal	ディバイドリハーサル中に、回転つまみ以外のリモコンの操作をした。	—
SEL Group	停止中や再生中、グループに入っていない曲を選んだ状態で、「▭:Name」、「▭:Move」「▭:Erase」を選んだ。	編集したいグループ内の曲を選んだ状態で、もう一度操作する。
SEL Track	再生が終わったとき、またはEND SEARCHボタンを押した後、本機が停止した状態で「♫:Name」、「♫:Move」、「♫:Erase」を選んだ。	編集したい曲を選んだ状態で、もう一度操作する。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録している（87ページ）。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
TOC ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクを入れてみる ディスクの内容を全て削除してよいときは、記録されている内容を全て削除する（45ページ）。
TR FULL	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト（曲の誤消去防止）がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集する。
	パソコンからチェックアウトした曲に、録音、編集をしようとした。	パソコンにチェックインして編集する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

こんなこともできます

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

MD一般

Q1: 「TOC Edit」とは？

A1: TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。
どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Q2: サンプリングレートとは？

A2: サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。
一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、MDのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

Q3: ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sとは？

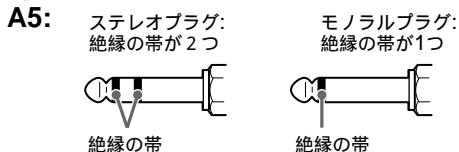
A3: ソニーのハイスペックMDデッキに搭載されているATRAC用DSP TYPE-Sを採用。長時間ステレオ録音が魅力のMDLPモード再生時に高音質で楽しめます。また、このDSPにはATRAC用DSP TYPE-Rの演算能力も継承されていますので、標準録音モードでの録音・再生にも優れています。

Q4: Net MDとは？

A4: パソコン内に入っている音楽データを、USBケーブルを介してMDに録音できる規格です。
従来のMDが録音できる音源の種類は、マイクやアナログ入力からのアナログ音源または、音楽CDなどからのPCM音源のみだったため、パソコンからの録音は不可能でした。
しかし、「OpenMG」[1)]と「MagicGate」[2)]という著作権保護技術に基づいた音楽管理ソフト（SonicStageなど）を使って「ATRAC」[3)]、「ATRAC3」[3)]という音楽データの形式に変換することにより、MDへの録音が可能となりました。

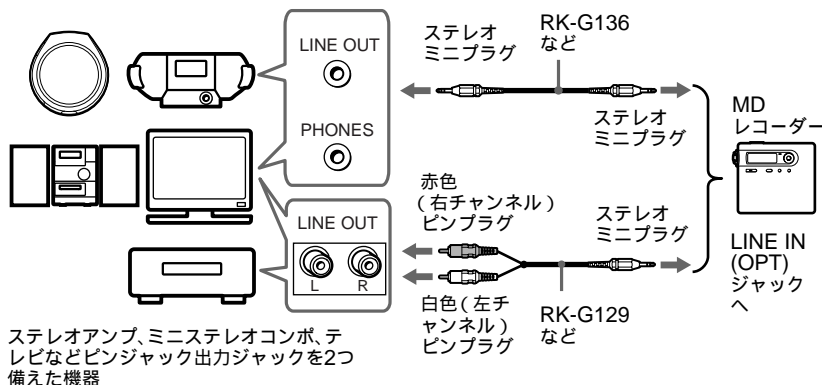
1) パソコンに取り込まれたCDなどの音楽データを管理するための著作権技術
2) パソコンとNet MD機器の間で、お互いが著作権保護に対応しているかの認証を行う技術
3) 従来のMDの録音時に変換される形式

Q5:　ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？

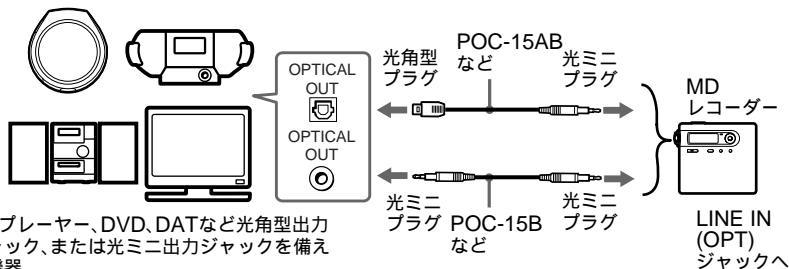
A5:

録音

Q1: MDでは何が録音できるの？

A1: アナログ入力とデジタル入力、両方の録音ができます。本機ではアナログ入力、デジタル入力に、LINE IN(OPT)ジャックを使います。

アナログ入力：
- マイクからの録音
- 接続コードをつないで録音（テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプ、アナログプレーヤーなどからの録音）

デジタル入力：

- 光デジタルケーブルをつないで録音（CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など）

録音するときは、録音元の音声出力端子の形状を確認し、適切な接続コード、光デジタルケーブルをお使いください。

- パソコンからNet MDを使って録音

	録音元	出力端子	形状	使うケーブル[1]
アナログ入力	テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプなど	LINE OUT AUX OUT REC OUTなど	ピンジャック L R	ピンプラグ↔ステレオミニプラグ（RK-G129など）
			ステレオミニジャック	ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ ’（RK-G136など）
		HEADPHONES Phones 🎧など[2]	ステレオミニジャック[3] (Headphones)	ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ ’（RK-G136など）
	マイク[4]	—	—	マイク：ステレオミニプラグ（ECM-717など）
デジタル入力	CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など	OPTICAL OUT DIGITAL OUT など[5]	光角型ジャック	光角型プラグ↔光ミニプラグ（POC-15ABなど）
			光ミニジャック	光ミニプラグ↔光ミニプラグ（POC-15Bなど）
	パソコン[6]	USB	USB	専用USBケーブル（ Net MD機器に付属）

1) 詳しくは、75ページをご覧ください。
2) 録音レベルを調節してください。詳しくは、30ページをご覧ください。
3) ヘッドホンジャックの穴径が3.5mmより太いとき（穴径6.3mm）は、プラグアダプターPC-234SまたはPC-234HSをお使いください。
4) マイクを使っての録音について、詳しくは28ページをご覧ください。
5) 同軸（COAXIAL)の出力端子からは録音できません。
6) Net MD対応機器でのみ録音できます。

Q2: デジタル録音とアナログ録音は何が違うの？

A2: デジタル録音（光デジタル入力）とアナログ録音（アナログ入力）では、次のような違いがあります。

相違点＼入力の種類	光デジタル入力	アナログ入力（LINE IN）
つなぐことができる機器	光デジタル出力ジャックのある機器（CDプレーヤー、DVDプレーヤー、CDラジカセなど）	出力（LINE OUT）ジャックのある機器（カセットデッキ、レコードプレーヤーなど）
使用するコード	光デジタルケーブル（録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ）（19ページ）	接続コード（録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ）（27ページ）
録音もとから送られる信号	デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
頭出しマーク（曲番）のつきかた[1]	• 音源がCDやMDの場合、録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 音源がCDやMD以外の場合、2秒以上の無音（92ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。（シンクロ録音中は3秒以上の無音が続いた場合）	• 2秒以上の無音（92ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。
録音される音の大きさ	録音もとと同じ。 手動でも調節できます（デジタルRECレベルコントロール）（「手動で録音レベルを調節する」30ページ）。	自動調節される。 手動でも調節できます（「手動で録音レベルを調節する」30ページ）。

[1] 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「曲を１つにする（コンバイン）」43ページ）。

ご注意

次のような場合、録音もとと同じ位置に頭出しマーク（曲番）が記録されないことがあります。

- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合（このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。）
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

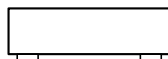
Q3: 録音するとき、いつも録音済み部分の後ろから録音をはじめるには？

A3: 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定で「From End」を選びます。
録音開始位置の設定のしかたについて詳しくは、「上書きをせずに録音する」（57ページ）をご覧ください。

Q4: 光デジタル出力ジャックがない機器から録音できますか？

A4: デジタル録音はできませんが、アナログ出力ジャック（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT/CD OUT ジャック、ヘッドホンジャックなど）を使えば、アナログ録音はできます。
ヘッドホンジャックから録音する場合、音が歪まないように（一番大きな音が入力されたとき、録音レベル表示の左から5番めのバーが点灯するくらいに）、つないだ先の機器の音量を調整してください。
録音レベルの調整のしかたについて詳しくは、「手動で録音レベルを調節する」（30ページ）をご覧ください。

Q5: デジタル録音をしたMDを他のMDに録音できますか？

A5: CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。
本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS）」に準拠しています。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

Q6: MDの曲番はどうやってつくの？

A6: CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 曲番をつけます。
デジタル入力からの録音→録音元のCDなどと同じところにつく。
アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたときにつく。
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番がつきます。

Q7: 無音レベルとは？

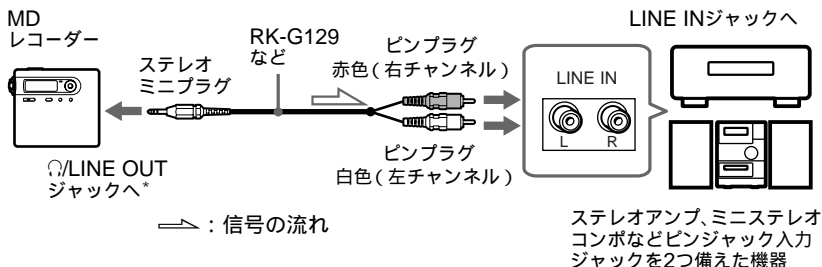
A7: 本機ではアナログ入力時は約4.8 mV（Manual REC時を除く）、光デジタル入力時はフルビットを0 dBとした場合、約–89 dB以下の入力レベルです。

Q8: 曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まるのはなぜ？

A8: システム上の制約です。
同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で254個になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

再生

Q1: ステレオコンポやラジカセ、アンプなどにつないでMDウォークマンの音を再生するには？

A1: MDウォークマンの🎧/LINE OUTジャックと、ラジカセやアンプなどのLINE IN/AUX IN/REC INなどの入力ジャックにつなぎ、MDウォークマン側で操作します。

* 🎧/LINE OUT出力の設定を「LINE OUT」にしてください。詳しくは37ページをご覧ください。

Q2: 編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれるのはなぜ？

A2: システム上の制約です。
再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

編集

Q1: トラックマーク(曲番)が消せないのはなぜ？

A1: 以下の場合はシステム上の制約により、トラックマークが消せません。

- つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが短い（ステレオ録音時は12秒以下、LP2／モノラル録音時は24秒以下、またはLP4録音時は48秒以下）のとき、その曲の頭出しマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことができない場合があります。
- 異なる録音モード（例えば、LP2とLP4など）で録音された曲の間の頭出しマークは消すことができません。

Q2: 曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えないのはなぜ？

A2: システム上の制約です。
ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下(LP4ステレオ録音時)の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

Q3: ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しないのはなぜ？

A3: システム上の制約です。
通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒(4秒または8秒)に満たない場合でも約2秒(4秒または8秒)分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒(4秒または8秒)分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）ずつ短くなります。

グループ機能

Q1:「グループ設定」の方法は？

A1: 4つの方法があります。詳しい手順については、参照ページをご覧ください。

録音前

- メニューの「🗀:REC」の設定を「🗀:REC ON」にする。（「録音をする時、常にグループにして録音する」（57ページ））

録音時

- 新しいグループを作って録音する
停止中にEND SEARCHボタンを押して録音を始めると、新しいグループを作ってそのグループの中に録音します。（「新しくグループを作って録音する」（46ページ））
- 既存のグループに新しく曲を録音する
グループを選んでから録音します。（「既存のグループに追加録音する」（46ページ））

録音後

- 録音済みのディスクをグループ設定する
グループにしたい曲の1曲目と最後の曲を選んでグループ設定します。（「曲やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）」（48ページ））。

Q2: はなれている曲やグループを1つにまとめるには？

A2: あらかじめ、まとめたい曲やグループをとなり合わせに連続させた後、グループ設定を行います。
詳しくはの「曲順を変える（ムーブ）」（41ページ）、「グループの順番を並べかえる（グループムーブ）」（51ページ）をご覧ください。

Q3: グループ名はどうやって記録される？

A3: グループ機能を使って録音すると、グループ情報は「ディスク名」としてディスク名の記録領域に自動的に記録されます。具体的には次のような文字列が書き込まれます。

ディスク名の記録領域
例）

0;Favorites//2-4;Rock//6-9;Pops//

① ② ③

① **ディスク名：**「Favorites」
② 2**曲めから**4**曲めのグループ名：**「Rock」
③ 6**曲めから**9**曲めのグループ名：**「Pops」

グループ設定されたMDをグループ機能未対応機器で読み込むと、前記の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。
本機では、通常はこの文字列は表示されませんが、ディスク名の編集中にGROUPボタン（リモコンでは +または–ボタン）を2秒以上押すと、この文字列を表示することができ、グループ名を直接編集することができます。

Q4: 新しいグループが録音されない、新しいグループを設定できないのはなぜ？

A4: ディスク全体の入力文字数の合計が制限を超えたためかもしれません（システム上の制約）。
A3のとおり、グループ情報はディスク名の領域を使って行われます。ディスク名と曲名は同じ領域に記録され、最大文字数はディスク名（グループ情報含む）と曲名合計で約1700文字です。この文字数を超えた場合、グループモードで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

アルファベット・数字

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  Net MD対応機器に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（別冊の「SonicStage Ver.1.5簡単ガイド」37ページの項目）を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- **http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル**…………**0570-00-3311**
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311**
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- **FAX**…………………………**0466-31-2595**

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan